

## IV 調査結果（一般）

---



# 1 ご自身のことについて

## 1-1 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。(いずれかに○)

性別については、「男性」が42.6%、「女性」が55.9%となっています。

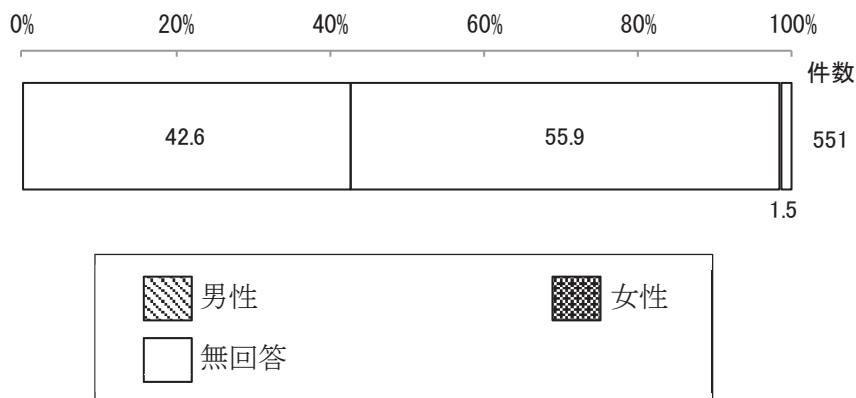


図 1-1 性別

## 1-2 年齢

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年9月1日現在)

年齢については、「70歳以上」が26.1%で最も高く、次いで「60歳代」が21.8%、「40歳代」が18.9%、「50歳代」が12.3%、「30歳代」が11.8%などとなっています。

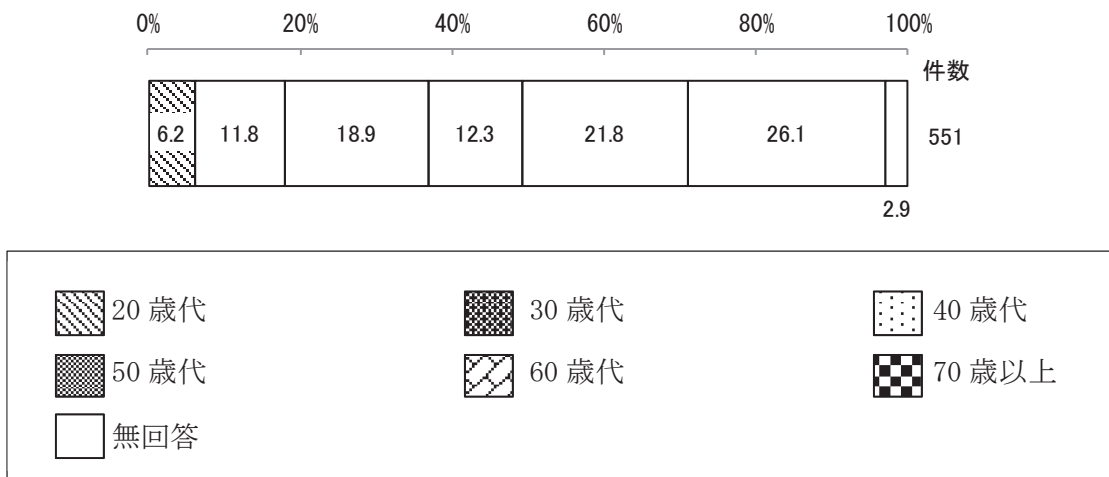


図 1-2 年齢

### 1-3 居住地区

問3 あなたの住んでいる地区をお答えください。(1つだけ)

居住地区については、「犬山地区」が45.9%で最も高く、次いで「城東地区」が20.3%、「羽黒地区」が17.8%、「楽田地区」が12.7%などとなっています。

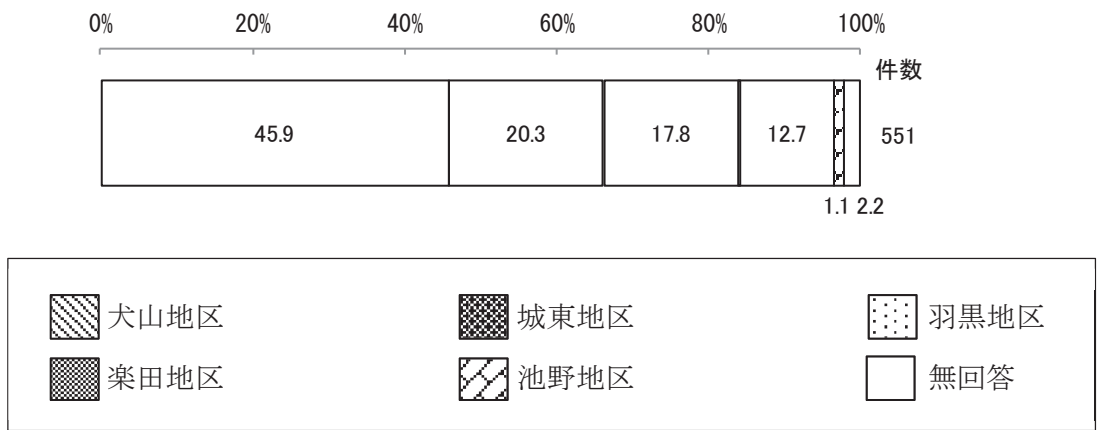


図 1-3 居住地区

### 1-4 居住形態

問4 あなたは今、どなたと暮らしていますか。(1つだけ)

居住形態については、「家族と暮らしている」が86.2%、「一人で暮らしている」が11.6%などとなっています。

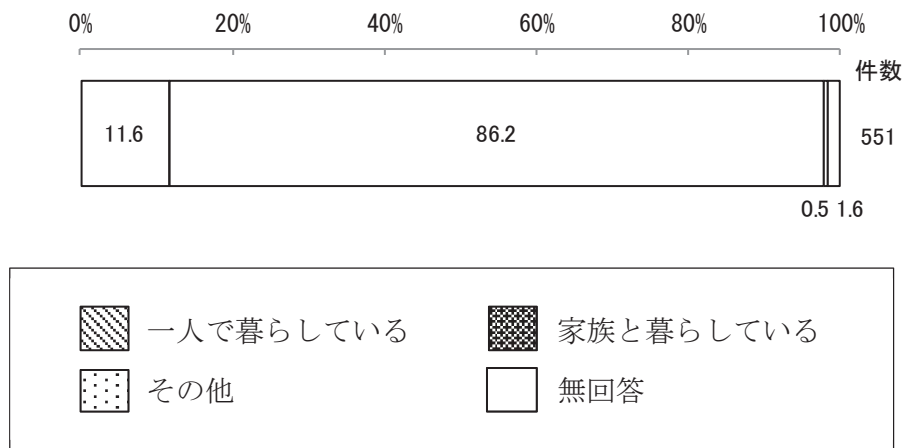


図 1-4-1 居住形態

## 【同居家族】

同居家族については、「配偶者」が77.5%で最も高く、次いで「子ども」が52.6%、「父母」が18.7%などとなっています。

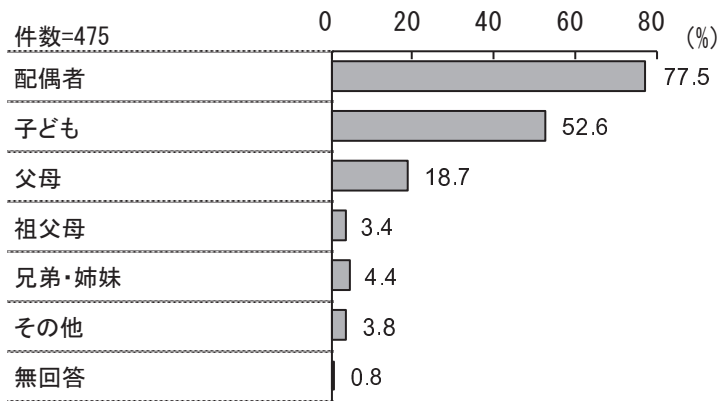


図 1-4-2 同居家族

## 1-5 職業

問5 あなたのお仕事は何ですか。(1つだけ)

職業については、「会社員」が26.9%、「パート・アルバイト」が16.2%、「専業主婦・夫」が15.1%などとなっています。

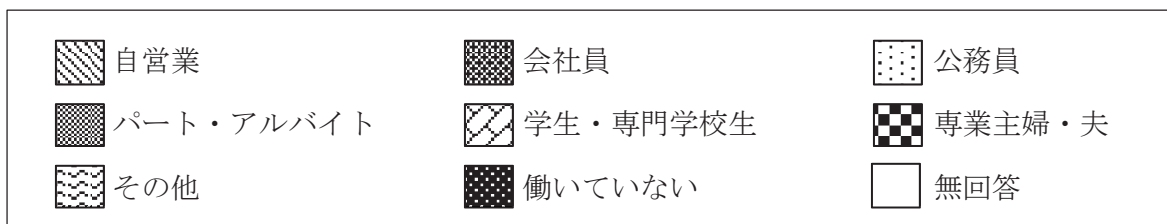
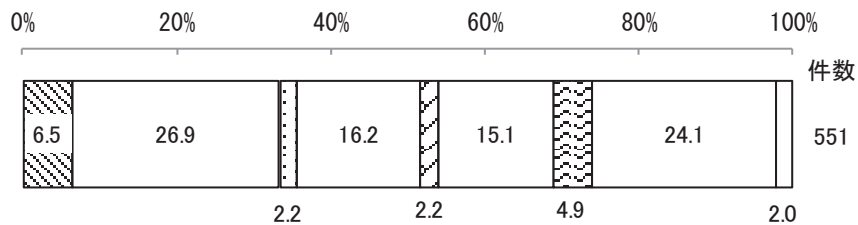


図 1-5 職業

## 1-6 障害者との接点

問6 あなたはこれまでに障害のある方と一緒に暮らしたり、遊んだり、学んだり、仕事をした経験がありますか。(すべて)

障害者との接点については、「一緒に生活したことがある」が20.0%、「職場で一緒に仕事をしたことがある」が16.5%、「学校や塾などで一緒に学んだことがある」が15.2%などとなっています。一方、「いずれもない」は37.2%で最も高くなっています。

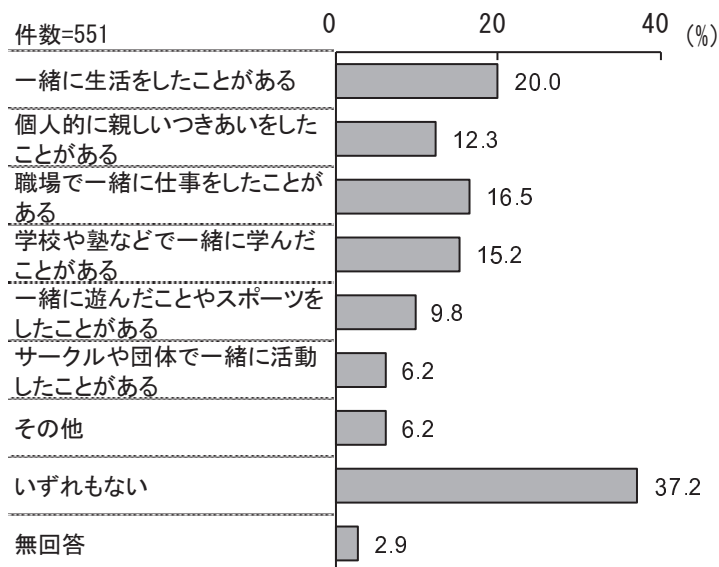


図 1-6 障害者との接点

性別・年齢別で見ると、性別では「職場で一緒に仕事をしたことがある」は男性（21.7%）が女性（13.0%）より8.7ポイント高くなっています。

年齢別では「学校や塾などで一緒に仕事をしたことがある」は20歳代（50.0%）、30歳代（33.8%）で高く、「職場で一緒に仕事をしたことがある」は50歳代が29.4%で高くなっています。

表 1-6 障害者との接点(性別・年齢別・地区別)

		件数	一緒に生活をしたことがある	個人的に親しいつきあいをしたことがある	職場で一緒に仕事をしたことがある	学校や塾などで一緒に学んだことがある	一緒に遊んだことやスポーツをしたことがある	サークルや団体と一緒に活動したことがある	その他	いずれもない	無回答
(件、%)											
全	体	551	20.0	12.3	16.5	15.2	9.8	6.2	6.2	37.2	2.9
性別	男性	235	22.1	13.2	21.7	20.0	9.8	4.7	2.6	34.0	0.9
	女性	308	18.8	11.7	13.0	12.0	10.1	7.5	9.1	40.6	2.3
年齢別	20歳代	34	14.7	11.8	11.8	50.0	11.8	2.9	2.9	14.7	-
	30歳代	65	16.9	7.7	20.0	33.8	12.3	4.6	1.5	30.8	-
	40歳代	104	25.0	12.5	21.2	18.3	13.5	4.8	6.7	32.7	-
	50歳代	68	20.6	16.2	29.4	11.8	5.9	8.8	10.3	32.4	-
	60歳代	120	25.8	10.8	14.2	9.2	9.2	5.8	7.5	40.0	2.5
	70歳以上	144	15.3	13.9	10.4	2.1	6.9	6.9	4.9	51.4	4.2
地区別	犬山地区	253	18.6	11.9	16.6	16.6	8.7	7.1	5.5	36.4	1.6
	城東地区	112	23.2	16.1	19.6	12.5	13.4	8.9	4.5	35.7	0.9
	羽黒地区	98	23.5	12.2	14.3	18.4	9.2	3.1	6.1	42.9	1.0
	楽田地区	70	17.1	10.0	18.6	10.0	7.1	4.3	11.4	40.0	4.3
	池野地区	6	16.7	16.7	-	50.0	33.3	-	16.7	-	-

## 1-7 障害者福祉に対する関心

問7 あなたは障害者福祉に対して関心がありますか。(1つだけ)

障害者福祉に対する関心については、「ある程度関心がある」が46.8%で、これに「とても関心がある」(12.2%)を合わせた『関心がある』が59.0%、一方、「あまり関心がない」が23.4%で、これに「全く関心がない」(2.5%)を合わせた『関心がない』が25.9%となっています。

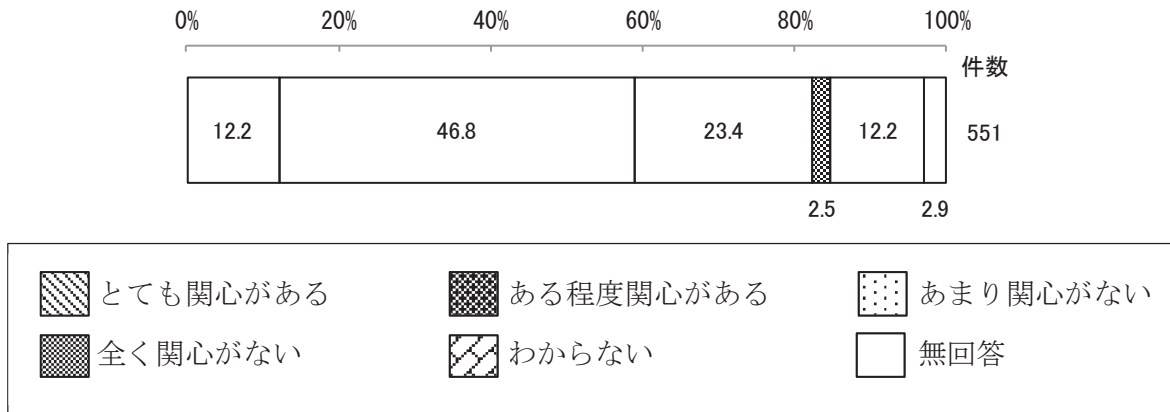


図 1-7 障害者福祉に対する関心

性別・年齢別でみると、性別では『関心がない』は男性(33.2%)が女性(20.8%)より12.4ポイント高くなっています。

年齢別では『関心がない』は30歳代(38.4%)、40歳代(35.6%)で高くなっています。

表 1-7 障害者福祉に対する関心(性別・年齢別)

		件数	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	わからない	無回答
		(件、%)						
全体		551	12.2	46.8	23.4	2.5	12.2	2.9
性別	男性	235	11.5	43.4	29.4	3.8	10.2	1.7
	女性	308	12.3	50.0	19.2	1.6	14.0	2.9
年齢別	20歳代	34	11.8	50.0	23.5	8.8	5.9	-
	30歳代	65	4.6	44.6	33.8	4.6	12.3	-
	40歳代	104	12.5	39.4	34.6	1.0	8.7	3.8
	50歳代	68	13.2	51.5	20.6	4.4	10.3	-
	60歳代	120	15.0	52.5	18.3	2.5	9.2	2.5
	70歳以上	144	12.5	47.2	15.3	0.7	20.1	4.2



## 1-8 障害者福祉に関心がある理由

問7-1 問7で「1. とても関心がある」「2. ある程度関心がある」と答えた方にお聞きします。どのような理由から関心がありますか。(すべて)

障害者福祉に関心がある理由については、「自分の身内や近所、知り合いに障害のある方がいるから」が54.2%で最も高く、次いで「テレビや雑誌等で障害のある方に関することを目にしたり聞いたりするから」が43.1%、「障害者福祉の制度に興味があるから」が13.8%、「自分自身が福祉に関する職業についているから」が11.7%、「県や市の広報で障害のある方に関することを目にするから」が10.8%などとなっています。

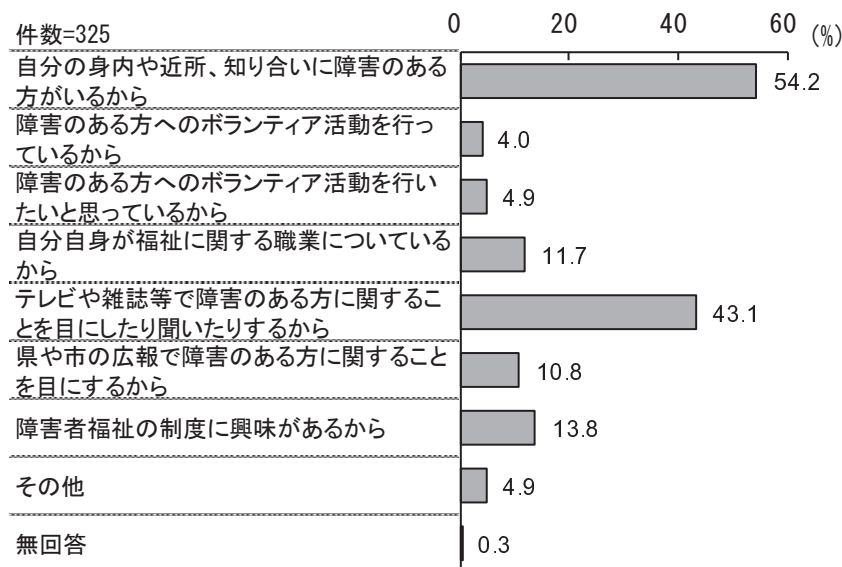


図 1-8 障害者福祉に関心がある理由

性別・年齢別でみると、性別では「テレビや雑誌等で障害のある方に関することを目にしたり聞いたりするから」は男性（46.5%）が女性（41.7%）より4.8ポイント高くなっています。

年齢別では「テレビや雑誌等で障害のある方に関することを目にしたり聞いたりするから」は70歳以上が58.1%で6割弱と高くなっています。

表 1-8 障害者福祉に関心がある理由(性別・年齢別・地区別)

		件数	に自分の身内や近所、知り合いから	障害のある方へのボランティア	障害のある方へのボランティア	自分自身が福祉に関する職業	方テレビや雑誌等で障害のある方	に県や市の広報で障害のある方	る障害者福祉の制度に興味がある	その他	無回答
		(件、%)									
全 体		325	54.2	4.0	4.9	11.7	43.1	10.8	13.8	4.9	0.3
性別	男性	129	53.5	2.3	3.1	10.1	46.5	10.9	14.0	4.7	-
	女性	192	54.7	4.7	5.7	12.5	41.7	10.9	13.5	4.7	0.5
年齢別	20歳代	21	38.1	9.5	4.8	23.8	28.6	-	9.5	4.8	-
	30歳代	32	50.0	-	9.4	6.3	46.9	3.1	9.4	9.4	-
	40歳代	54	59.3	5.6	9.3	16.7	37.0	5.6	16.7	1.9	-
	50歳代	44	61.4	4.5	2.3	11.4	36.4	-	6.8	6.8	-
	60歳代	81	54.3	3.7	3.7	12.3	38.3	13.6	16.0	2.5	1.2
	70歳以上	86	54.7	2.3	2.3	7.0	58.1	23.3	16.3	4.7	-
地区別	犬山地区	144	50.7	3.5	3.5	11.1	39.6	9.7	12.5	7.6	0.7
	城東地区	75	56.0	4.0	2.7	13.3	45.3	18.7	14.7	1.3	-
	羽黒地区	56	50.0	3.6	7.1	7.1	53.6	5.4	12.5	5.4	-
	楽田地区	43	65.1	4.7	7.0	14.0	41.9	9.3	18.6	2.3	-
	池野地区	3	66.7	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-

## 1-9 健康診断の受診状況

問8 あなたは毎年、健康診断を受けていますか。また、受けていないと答えた方は、その理由は何ですか。

健康診断の受診状況については、「受けている」が74.4%、「受けていない」が23.2%となっています。

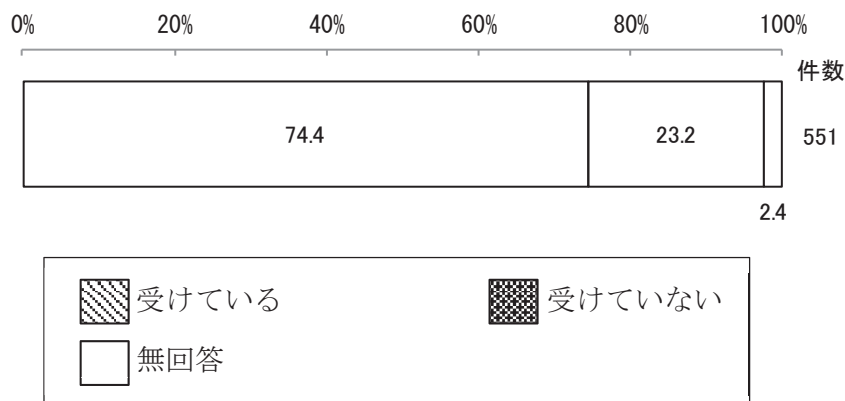


図 1-9-1 健康診断の受診状況

性別・年齢別で見ると、性別では「受けている」は男性（81.3%）が女性（69.8%）より11.5ポイント高くなっています。

年齢別では「受けている」は50歳代が88.2%で約9割と高くなっています。

表 1-9-1 健康診断の受診状況(性別・年齢別)

		件数	受けている	受けていない	無回答
(件、%)					
全体		551	74.4	23.2	2.4
性別	男性	235	81.3	17.9	0.9
	女性	308	69.8	27.6	2.6
年齢別	20歳代	34	67.6	32.4	-
	30歳代	65	72.3	27.7	-
	40歳代	104	74.0	21.2	4.8
	50歳代	68	88.2	11.8	-
	60歳代	120	70.8	26.7	2.5
	70歳以上	144	75.7	22.9	1.4

### 【健康診断を受けていない理由】

健康診断を受けていない理由については、「自覚症状がないため」が43.0%で最も高く、次いで「既に病院にかかっているため」が28.1%、「費用を負担してまで、受けたくないため」が18.0%、「健康診断等の情報がわからないため」が16.4%、「健康診断の時間内にいけないため」が12.5%などとなっています。

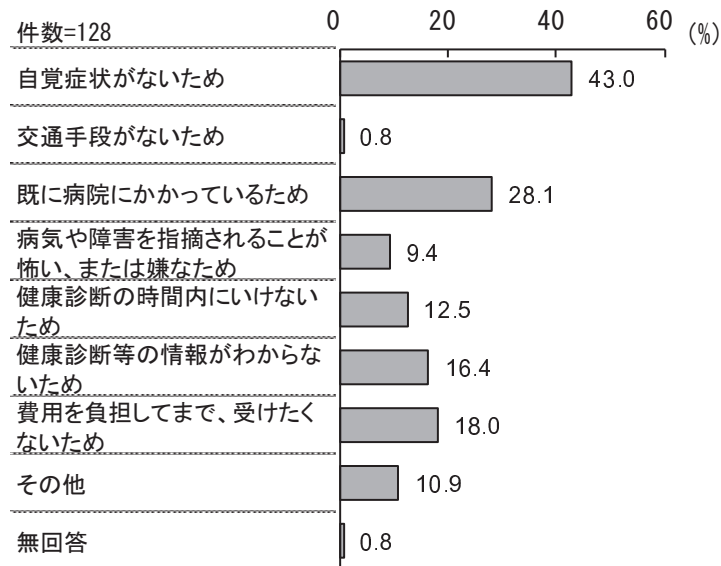


図 1-9-2 健康診断を受けていない理由

性別・年齢別でみると、性別では男性は「既に病院にかかっているため」(35.7%)、「健康診断の時間内にいけないため」(21.4%)で、女性は「自覚症状がないため」(45.9%)、「病気や障害を指摘されることが怖い、または嫌なため」(12.9%)、「健康診断等の情報がわからないため」(18.8%)が高くなっています。

表 1-9-2 健康診断を受けていない理由(性別・年齢別)

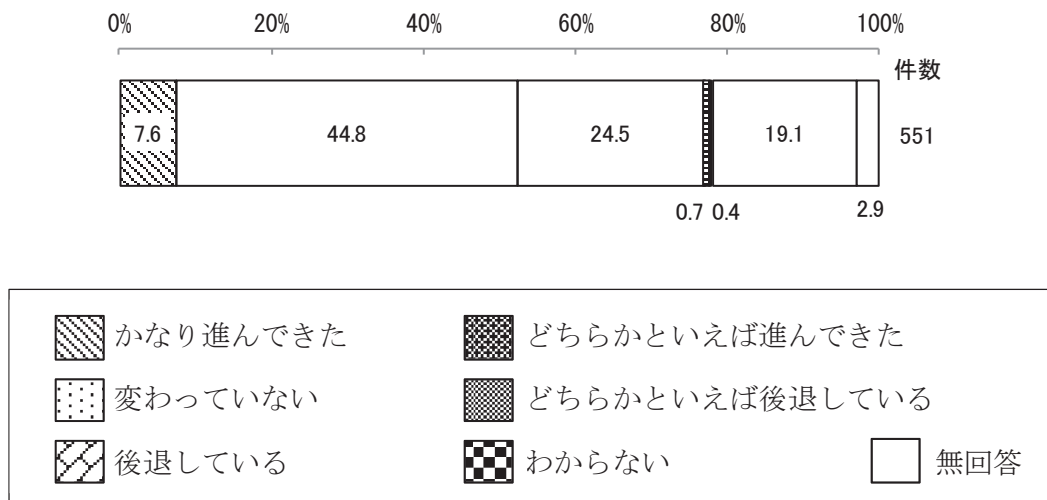
(件、%)		件数	自覚症状がないため	交通手段がないため	既に病院にかかっているため	病気や障害を指摘されることが怖い、または嫌なため	健康診断の時間内にいけないため	健康診断等の情報がわからないため	費用を負担してまで、受けたくないため	その他	無回答
全 体		128	43.0	0.8	28.1	9.4	12.5	16.4	18.0	10.9	0.8
性別	男性	42	35.7	2.4	35.7	2.4	21.4	11.9	19.0	11.9	-
	女性	85	45.9	-	23.5	12.9	8.2	18.8	17.6	10.6	1.2
年齢別	20歳代	11	54.5	-	-	9.1	9.1	18.2	18.2	27.3	-
	30歳代	18	27.8	-	-	5.6	27.8	50.0	33.3	5.6	-
	40歳代	22	22.7	4.5	13.6	18.2	13.6	18.2	18.2	9.1	-
	50歳代	8	50.0	-	12.5	-	37.5	25.0	25.0	25.0	-
	60歳代	32	59.4	-	37.5	6.3	9.4	3.1	18.8	9.4	-
	70歳以上	33	42.4	-	57.6	12.1	3.0	6.1	6.1	9.1	-

## 2 障害のある方への意識について

### 2-1 地域社会での障害者に対する配慮や工夫に対する考え

問9 あなたは地域社会の中で障害のある方に対する配慮や工夫が進んできたと思いますか。  
(1つだけ)

地域社会での障害者に対する配慮や工夫に対する考えについては、「どちらかといえば進んできた」が44.8%で最も高く、これに「かなり進んできた」(7.6%)を合わせた『進んできた』が52.4%となっています。一方、「どちらかといえば後退している」(0.7%)と「後退している」(0.4%)を合わせた『後退している』は1.1%となっています。



性別・年齢別・地区別で見ると、性別では『進んできた』は男性(56.1%)が女性(50.6%)より5.5ポイント高くなっています。

年齢別では『進んできた』は60歳代が60.0%でやや高くなっています。

地区別では『進んできた』は犬山地区が55.3%でやや高くなっています。

表 2-1 地域社会での障害者に対する配慮や工夫に対する考え(性別・年齢別・地区別)

		件数	かなり進んできた	どちらかといえば進んできた	変わっていない	どちらかといえば後退している	後退している	わからない	無回答
(件、%)									
全体		551	7.6	44.8	24.5	0.7	0.4	19.1	2.9
性別	男性	235	8.9	47.2	26.0	-	0.4	16.2	1.3
	女性	308	6.8	43.8	23.1	1.3	-	21.8	3.2
年齢別	20歳代	34	8.8	47.1	32.4	-	-	11.8	-
	30歳代	65	3.1	49.2	30.8	-	-	16.9	-
	40歳代	104	1.9	43.3	33.7	1.9	-	16.3	2.9
	50歳代	68	7.4	51.5	23.5	2.9	1.5	13.2	-
	60歳代	120	11.7	48.3	18.3	-	-	19.2	2.5
	70歳以上	144	11.1	41.0	17.4	-	-	25.7	4.9
地区別	犬山地区	253	7.5	47.8	21.7	-	0.4	19.8	2.8
	城東地区	112	8.9	44.6	27.7	1.8	-	14.3	2.7
	羽黒地区	98	6.1	40.8	25.5	1.0	-	23.5	3.1
	楽田地区	70	7.1	45.7	25.7	1.4	-	20.0	-
	池野地区	6	33.3	16.7	50.0	-	-	-	-

## 2-2 地域社会の障害者に対する差別

問10 あなたは地域社会の中で、障害があることを理由とする差別があると思いますか。  
(いずれかに○)

地域社会の障害者に対する差別については、「ある」が64.2%、「ない」が29.6%となっています

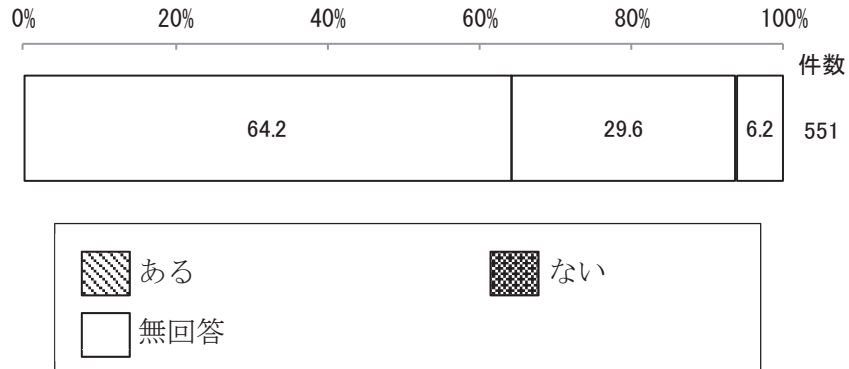


図 2-2 地域社会の障害者に対する差別

性別・年齢別・地区別で見ると、年齢別では「ある」は30歳代（81.5%）が8割以上で高くなっています。

表 2-2 地域社会の障害者に対する差別（性別・年齢別・地区別）

		件数	ある	ない	無回答
(件、%)					
全体		551	64.2	29.6	6.2
性別	男性	235	66.8	28.9	4.3
	女性	308	62.7	30.5	6.8
年齢別	20歳代	34	76.5	23.5	-
	30歳代	65	81.5	18.5	-
	40歳代	104	68.3	28.8	2.9
	50歳代	68	77.9	17.6	4.4
	60歳代	120	69.2	25.8	5.0
	70歳以上	144	41.0	46.5	12.5
地区別	犬山地区	253	65.2	30.4	4.3
	城東地区	112	67.0	26.8	6.3
	羽黒地区	98	59.2	31.6	9.2
	楽田地区	70	65.7	30.0	4.3
	池野地区	6	50.0	33.3	16.7



### 2-3 差別を感じる時

問10-1 問10で「1. ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような時ですか。  
(すべて)

差別を感じる時については、「仕事や収入」が73.2%で最も高く、次いで「まちなかでの視線」が50.8%、「人間関係」が43.2%、「交通機関の利用」が32.5%、「教育の場」が28.8%などとなっています。

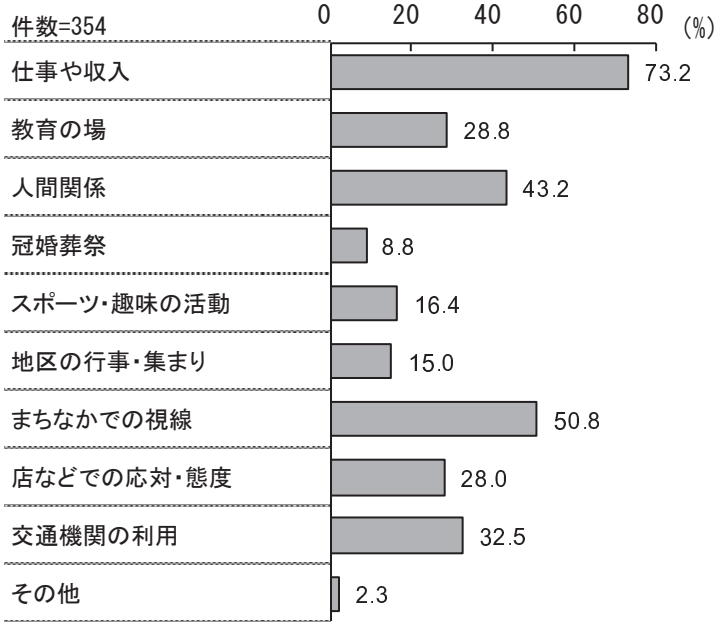


図 2-3 差別を感じる時

性別・年齢別・地区別でみると、性別では「スポーツ・趣味の活動」は男性（21.7%）が女性（11.9%）より9.8ポイント高くなっています。

年齢別では「まちなかでの視線」は30歳代で、「仕事や収入」「人間関係」は40歳代で、「交通機関の利用」は50歳代でそれぞれ高くなっています。

地区別では「仕事や収入」は城東地区で、「人間関係」「店などでの対応・態度」「交通機関の利用」は羽黒地区で高くなっています。

表 2-3 差別を感じる時(性別・年齢別・地区別)

		件数	仕事や収入	教育の場	人間関係	冠婚葬祭	スポーツ・趣味の活動	地区の行事・集まり	まちなかでの視線	店などでの対応・態度	交通機関の利用	その他
(件、%)												
全 体		354	73.2	28.8	43.2	8.8	16.4	15.0	50.8	28.0	32.5	2.3
性別	男性	157	76.4	29.3	47.8	12.7	21.7	15.3	52.2	27.4	31.8	1.9
	女性	193	70.5	28.5	39.9	5.7	11.9	15.0	49.7	29.0	33.7	2.6
年齢別	20歳代	26	50.0	42.3	46.2	-	7.7	7.7	57.7	30.8	19.2	-
	30歳代	53	75.5	39.6	45.3	7.5	11.3	13.2	60.4	34.0	32.1	3.8
	40歳代	71	84.5	36.6	54.9	11.3	19.7	16.9	49.3	35.2	32.4	-
	50歳代	53	75.5	28.3	37.7	15.1	17.0	13.2	43.4	26.4	43.4	1.9
	60歳代	83	78.3	24.1	36.1	9.6	20.5	14.5	43.4	26.5	33.7	2.4
	70歳以上	59	61.0	13.6	44.1	5.1	13.6	20.3	55.9	18.6	30.5	5.1
地区別	犬山地区	165	66.7	29.7	41.2	8.5	13.9	16.4	46.1	26.7	27.3	2.4
	城東地区	75	84.0	22.7	49.3	10.7	18.7	14.7	56.0	26.7	36.0	-
	羽黒地区	58	81.0	29.3	53.4	10.3	22.4	13.8	53.4	41.4	46.6	1.7
	楽田地区	46	69.6	37.0	34.8	6.5	13.0	15.2	56.5	21.7	28.3	4.3
	池野地区	3	100.0	33.3	-	-	-	-	66.7	33.3	66.7	-

## 2-4 障害者に対する支援の考え

問11 障害のある方に対する支援について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。  
(1つだけ)

障害者に対する支援の考えについては、「支援をしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない」が40.8%で最も高く、次いで「できる範囲で支援したい」が27.6%、「支援をしたいが、何をすればいいのかわからない」が15.6%などとなっています。

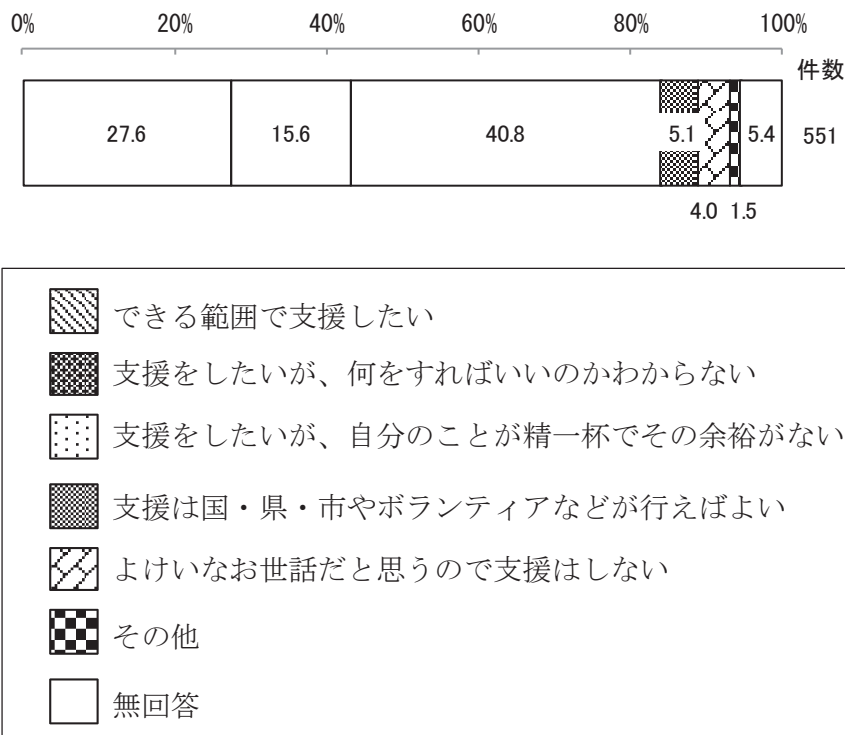


図 2-4 障害者に対する支援の考え

性別・年齢別・地区別でみると、年齢別では「支援をしたいが、何をすればいいのかわからない」は20歳代が29.4%で約3割と高くなっています。

表 2-4 障害者に対する支援の考え(性別・年齢別・地区別)

(件、%)		件数	できる範囲で支援したい	いいのかわからないが、何をすれば	が支援をしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない	支援は国・県・市やボランティアなどが行えばよい	よけいな世話だと思わない	その他	無回答
全 体		551	27.6	15.6	40.8	5.1	4.0	1.5	5.4
性別	男性	235	26.8	14.9	40.4	6.0	6.0	2.6	3.4
	女性	308	27.6	16.6	41.9	4.5	2.6	0.6	6.2
年齢別	20歳代	34	23.5	29.4	29.4	11.8	5.9	-	-
	30歳代	65	20.0	18.5	43.1	7.7	7.7	-	3.1
	40歳代	104	31.7	14.4	35.6	3.8	5.8	2.9	5.8
	50歳代	68	33.8	23.5	27.9	5.9	4.4	-	4.4
	60歳代	120	32.5	12.5	42.5	5.0	2.5	-	5.0
	70歳以上	144	21.5	11.8	51.4	3.5	2.1	3.5	6.3
地区別	犬山地区	253	28.9	17.0	40.3	4.3	4.7	1.6	3.2
	城東地区	112	29.5	15.2	41.1	6.3	2.7	0.9	4.5
	羽黒地区	98	18.4	15.3	44.9	6.1	2.0	2.0	11.2
	柴田地区	70	28.6	14.3	40.0	5.7	5.7	1.4	4.3
	池野地区	6	50.0	-	33.3	-	16.7	-	-

### 3 障害のある方との関わりについて

#### 3-1 障害者を手助けした経験

問12 あなたは日常生活の中で、障害のある方の手助けをしたことがありますか。  
(いずれかに○)

障害者を手助けした経験については、「ある」が40.8%、「ない」が54.3%となっています。

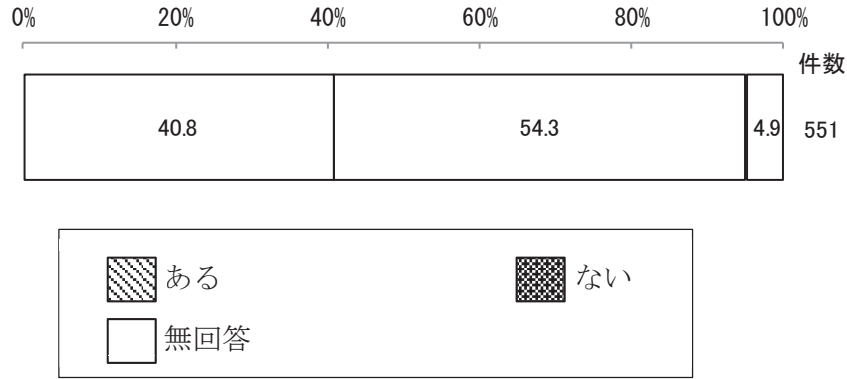


図 3-1 障害者を手助けした経験

性別・年齢別・地区別で見ると、「ある」は20歳代（52.9%）のみ5割以上で「ない」より高くなっています。

表 3-1 障害者を手助けした経験(性別・年齢別・地区別)

		件数	ある	ない	無回答
		(件、%)			
全体		551	40.8	54.3	4.9
性別	男性	235	38.3	56.6	5.1
	女性	308	42.9	52.9	4.2
年齢別	20歳代	34	52.9	47.1	-
	30歳代	65	38.5	53.8	7.7
	40歳代	104	49.0	49.0	1.9
	50歳代	68	42.6	51.5	5.9
	60歳代	120	45.8	52.5	1.7
	70歳以上	144	29.9	61.8	8.3
地区別	犬山地区	253	42.7	51.4	5.9
	城東地区	112	42.0	56.3	1.8
	羽黒地区	98	35.7	60.2	4.1
	楽田地区	70	37.1	57.1	5.7
	池野地区	6	83.3	16.7	-

### 3-2 手助けの内容

問12-1 問12で「1. ある」と答えた方にお聞きします。あなたが実際に行った手助けは何ですか。(すべて)

手助けの内容については、「車いすを押す」が46.7%で最も高く、次いで「外出時の援助(送迎を含む)」が41.8%、「身体的な介助(着替え・食事など)」が36.4%、「話し相手」が36.0%、「家事の援助(掃除・洗濯・調理・育児など)」が28.4%などとなっています。

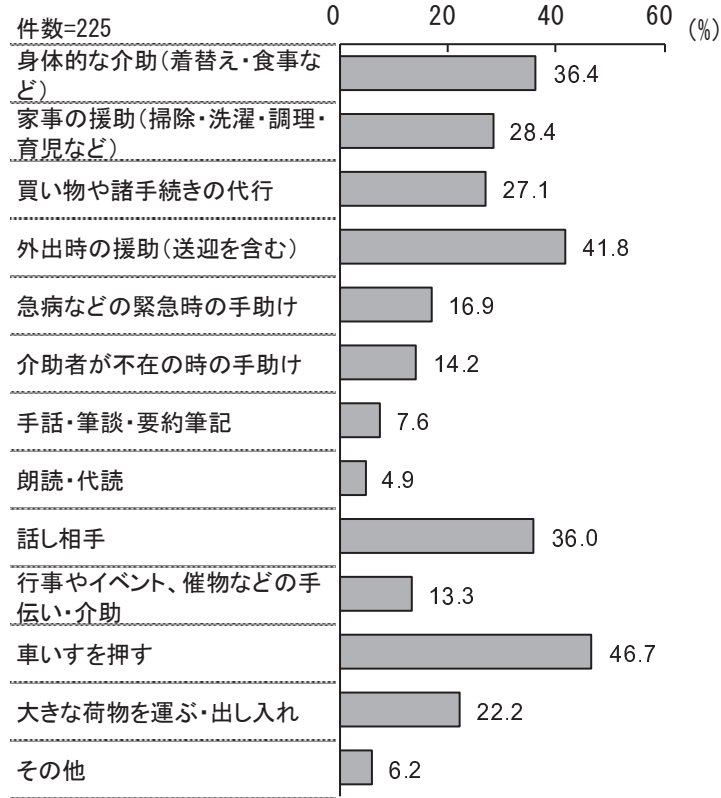


図 3-2 手助けの内容

性別・年齢別・地区別でみると、性別では「外出の援助（送迎を含む）」（47.8%）、「大きな荷物を運ぶ・出し入れ」（32.2%）は男性が、「身体的な介助（着替え・食事など）」（40.9%）、「車いすを押す」（51.1%）は女性が高くなっています。

年齢別では「身体的な介助（着替え・食事など）」「車いすを押す」は60歳代で5割以上と高く、「外出の援助（送迎を含む）」「急病などの緊急時の手助け」は70歳以上で高くなっています。

表 3-2 手助けの内容(性別・年齢別・地区別)

		件数	身体的な介助（着替え・食事など）	家事の援助（掃除・洗濯・調理・育児など）	買い物や諸手続きの代行	外出時の援助（送迎を含む）	急病などの緊急時の手助け	介助者が不在の時の手助け	手話・筆談・要約筆記	朗読・代読	話し相手	行事やイベント、催物などの手伝い・介助	車いすを押す	大きな荷物を運ぶ・出し入れ	その他
		(件、%)													
全体		225	36.4	28.4	27.1	41.8	16.9	14.2	7.6	4.9	36.0	13.3	46.7	22.2	6.2
性別	男性	90	30.0	25.6	27.8	47.8	18.9	14.4	5.6	3.3	35.6	14.4	40.0	32.2	4.4
	女性	132	40.9	30.3	26.5	38.6	15.9	14.4	9.1	6.1	36.4	12.1	51.5	15.2	7.6
年齢別	20歳代	18	11.1	5.6	11.1	16.7	5.6	11.1	22.2	-	50.0	5.6	33.3	22.2	5.6
	30歳代	25	24.0	20.0	16.0	24.0	8.0	12.0	8.0	4.0	44.0	12.0	32.0	44.0	4.0
	40歳代	51	41.2	33.3	31.4	43.1	17.6	13.7	9.8	7.8	37.3	13.7	49.0	27.5	3.9
	50歳代	29	24.1	37.9	34.5	48.3	10.3	13.8	10.3	3.4	27.6	20.7	48.3	17.2	10.3
	60歳代	55	52.7	32.7	30.9	47.3	20.0	12.7	1.8	3.6	40.0	9.1	58.2	9.1	1.8
	70歳以上	43	37.2	25.6	25.6	53.5	27.9	20.9	4.7	7.0	25.6	14.0	44.2	23.3	11.6
地区別	犬山地区	108	34.3	25.0	23.1	37.0	12.0	17.6	6.5	5.6	35.2	13.0	42.6	25.0	6.5
	城東地区	47	31.9	38.3	29.8	44.7	23.4	10.6	12.8	8.5	40.4	17.0	48.9	19.1	4.3
	羽黒地区	35	42.9	22.9	25.7	42.9	20.0	14.3	8.6	-	28.6	11.4	51.4	14.3	5.7
	楽田地区	26	46.2	30.8	42.3	61.5	26.9	7.7	3.8	3.8	38.5	7.7	46.2	23.1	11.5
	池野地区	5	40.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	60.0	20.0	100.0	40.0	-

### 3-3 障害者に関わるボランティア活動への参加意向

問13 今後、障害のある方にかかわるボランティア活動に参加したいと思いますか。  
(1つだけ)

障害者に関わるボランティア活動への参加意向については、「参加したい」が18.1%、「参加したいとは思わない」が23.4%となっています。また、「わからない」が54.6%で最も高くなっています。

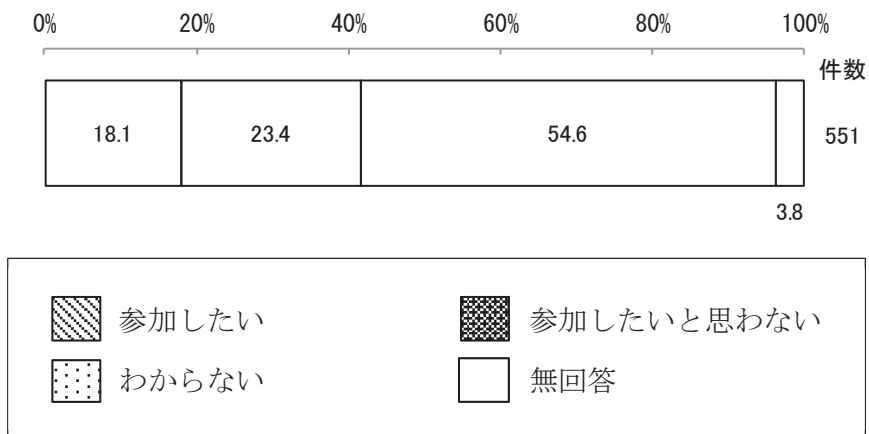


図 3-3 障害者に関わるボランティア活動への参加意向



性別・年齢別・地区別で見ると、性別では「参加したいと思わない」は男性（28.5%）が女性（19.8%）より8.7ポイント高くなっています。

年齢別では「参加したい」は50歳代（26.5%）、60歳代（24.2%）がやや高く、「参加したい」が「参加したいと思わない」を上回っています。

表 3-3 障害者に関わるボランティア活動への参加意向(性別・年齢別・地区別)

		件数	参加したい	参加したいと思わない	わからない	無回答
(件、%)						
全 体		551	18.1	23.4	54.6	3.8
性別	男性	235	17.4	28.5	51.9	2.1
	女性	308	18.2	19.8	57.5	4.5
年齢別	20歳代	34	23.5	32.4	41.2	2.9
	30歳代	65	7.7	26.2	60.0	6.2
	40歳代	104	17.3	21.2	58.7	2.9
	50歳代	68	26.5	17.6	48.5	7.4
	60歳代	120	24.2	20.8	54.2	0.8
	70歳以上	144	11.8	27.8	56.9	3.5
地区別	犬山地区	253	20.2	24.1	51.4	4.3
	城東地区	112	16.1	17.0	66.1	0.9
	羽黒地区	98	14.3	24.5	59.2	2.0
	楽田地区	70	18.6	28.6	45.7	7.1
	池野地区	6	16.7	50.0	33.3	-

### 3-4 参加したいボランティア活動

問13-1 問13で「1. 参加したい」と答えた方にお聞きします。どのようなボランティア活動に参加したいですか。(すべて)

参加したいボランティア活動については、「話し相手」が55.0%で最も高く、次いで「スポーツ・イベントなどの手伝いや介助」が42.0%、「学習活動・趣味活動などの介助」「災害時の援助」がそれぞれ38.0%、「外出時の援助(送迎を含む)」が27.0%などとなっています。

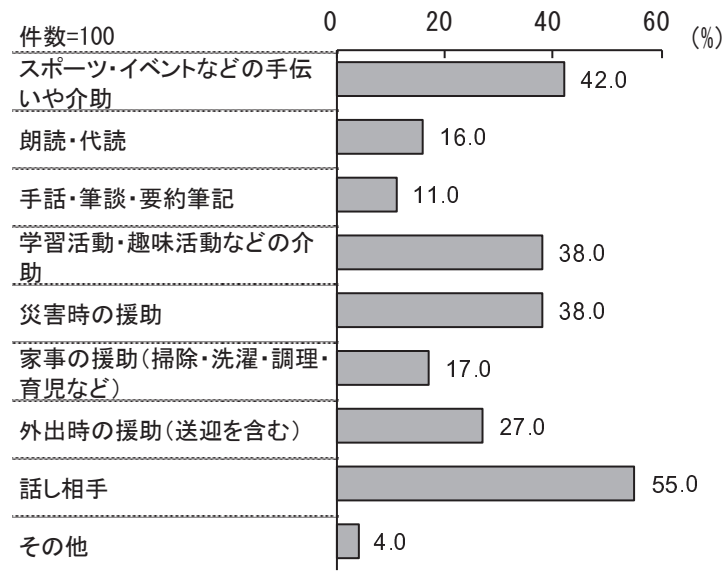


図 3-4 参加したいボランティア活動

性別・年齢別・地区別でみると、性別では「スポーツ・イベントなどの手伝いや介助」以外は男女の差が大きく、「学習活動・趣味活動などの介助」「災害時の援助」「外出時の援助（送迎を含む）」は男性が高く、「朗読・代読」「手話・筆談・要約筆記」「家事の援助（掃除・洗濯・調理・育児など）」「話し相手」は女性が高くなっています。

表 3-4 参加したいボランティア活動(性別・年齢別・地区別)

		件数	伝い スポーツ・ イベント などの手	朗読・ 代読	手話・ 筆談・ 要約筆記	学 習活 動・ 趣 味活 動な どの 介	災 害 時 の 援 助	理 家 事 の 援 助 (掃 除・ 洗 濯・ 調 理・ 育 児 な ど)	外 出 時 の 援 助 (送 迎 を 含 む)	話 し 相 手	そ の 他
(件、%)											
全 体		100	42.0	16.0	11.0	38.0	38.0	17.0	27.0	55.0	4.0
性別	男性	41	43.9	4.9	4.9	43.9	53.7	9.8	34.1	48.8	4.9
	女性	56	41.1	25.0	16.1	32.1	25.0	23.2	23.2	58.9	3.6
年齢別	20歳代	8	62.5	12.5	-	12.5	25.0	12.5	-	62.5	-
	30歳代	5	20.0	-	-	80.0	-	-	-	20.0	-
	40歳代	18	50.0	22.2	33.3	55.6	61.1	16.7	33.3	61.1	-
	50歳代	18	50.0	16.7	16.7	27.8	44.4	22.2	27.8	50.0	5.6
	60歳代	29	37.9	10.3	3.4	34.5	34.5	24.1	27.6	55.2	3.4
	70歳以上	17	29.4	23.5	5.9	35.3	29.4	11.8	47.1	58.8	11.8
地区別	犬山地区	51	37.3	21.6	9.8	35.3	41.2	17.6	27.5	54.9	2.0
	城東地区	18	55.6	11.1	11.1	44.4	27.8	5.6	16.7	61.1	11.1
	羽黒地区	14	57.1	-	-	42.9	35.7	14.3	50.0	57.1	-
	楽田地区	13	30.8	23.1	30.8	30.8	38.5	38.5	23.1	38.5	7.7
	池野地区	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

## 4 情報収集や通信機器の利用について

### 4-1 福祉サービスに関する情報の入手先

問14 福祉サービスに関する情報は、どこから入手していますか。(すべて)

福祉サービスに関する情報の入手先については、「市や県の広報・パンフレット」が50.3%で最も高く、次いで「新聞・雑誌・本」が36.7%、「テレビ・ラジオ」が36.3%、「家族・友人・知人」が15.4%、「インターネット（市のホームページ以外）」「病院・診療所・クリニック」がともに14.5%などとなっています。

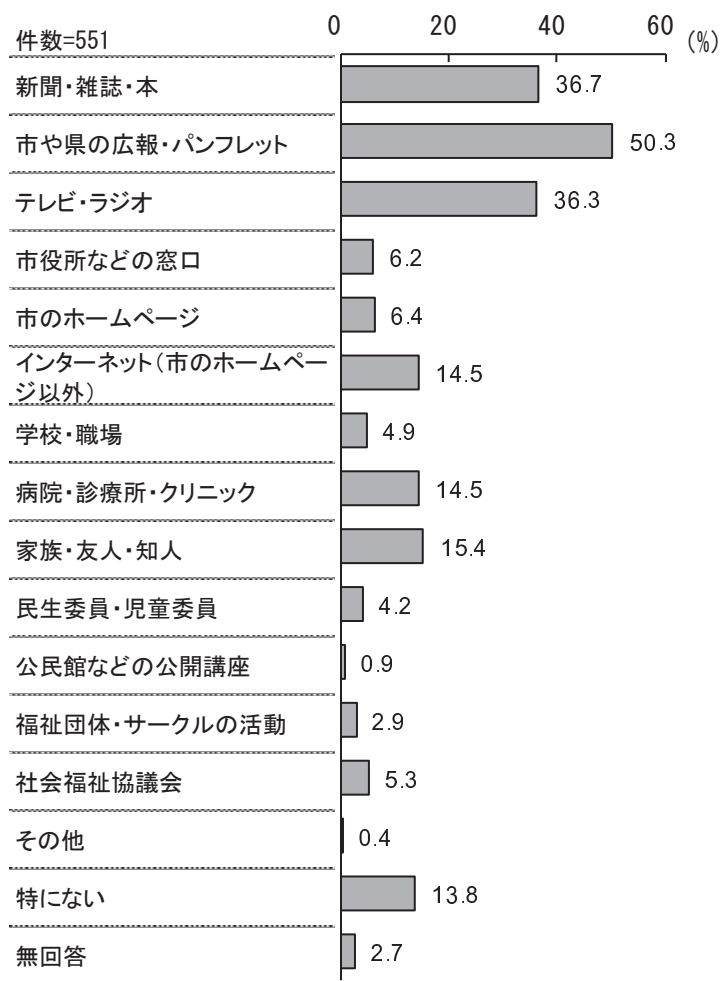


図 4-1 福祉サービスに関する情報の入手先

性別で見ると、「家族・友人・知人」は女性（19.8%）が男性（9.8%）より10.0ポイント高くなっています。

表 4-1-1 福祉サービスに関する情報の入手先(性別)

		件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット（市のホームページ以外）	学校・職場	病院・診療所・クリニック
全体		551	36.7	50.3	36.3	6.2	6.4	14.5	4.9	14.5
性別	男性	235	38.7	46.4	37.9	5.1	9.4	18.3	5.1	11.5
	女性	308	34.7	53.2	35.7	7.1	4.2	12.0	4.9	17.2
		件数	家族・友人・知人	民生委員・児童委員	公民館などの公開講座	福祉団体・サークルの活動	社会福祉協議会	その他	特にない	無回答
全体		551	15.4	4.2	0.9	2.9	5.3	0.4	13.8	2.7
性別	男性	235	9.8	4.7	1.3	4.3	5.5	0.4	13.6	1.3
	女性	308	19.8	3.9	0.6	1.9	5.2	0.3	14.3	3.2

年齢別でみると「新聞・雑誌・本」は60歳代が50.0%で5割以上と高く、「市や県の広報・パンフレット」は60歳代、50歳代で6割以上と高くなっています。また、「特にない」は20歳代（26.5%）、30歳代（27.7%）で2割以上と高くなっています。

表 4-1-2 福祉サービスに関する情報の入手先(年齢別)

		件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット（市のホームページ以外）	学校・職場	病院・診療所・クリニック
		(件、%)								
全体		551	36.7	50.3	36.3	6.2	6.4	14.5	4.9	14.5
年齢別	20歳代	34	8.8	23.5	26.5	2.9	8.8	23.5	8.8	5.9
	30歳代	65	21.5	24.6	35.4	3.1	7.7	23.1	3.1	15.4
	40歳代	104	27.9	45.2	35.6	6.7	6.7	23.1	11.5	9.6
	50歳代	68	35.3	63.2	30.9	4.4	5.9	20.6	7.4	19.1
	60歳代	120	50.0	61.7	40.0	6.7	5.8	8.3	1.7	18.3
	70歳以上	144	45.8	57.6	41.0	9.0	6.3	5.6	0.7	16.0
		件数	家族・友人・知人	民生委員・児童委員	公民館などの公開講座	福祉団体・サークルの活動	社会福祉協議会	その他	特にない	無回答
全体		551	15.4	4.2	0.9	2.9	5.3	0.4	13.8	2.7
年齢別	20歳代	34	23.5	2.9	-	-	-	-	26.5	-
	30歳代	65	10.8	1.5	-	-	-	-	27.7	4.6
	40歳代	104	17.3	1.9	1.0	4.8	3.8	-	13.5	1.9
	50歳代	68	14.7	1.5	2.9	2.9	4.4	1.5	5.9	4.4
	60歳代	120	13.3	5.0	-	3.3	7.5	0.8	10.8	2.5
	70歳以上	144	16.7	8.3	1.4	3.5	9.0	-	10.4	1.4

地区別でみると「新聞・雑誌・本」は城東地区が47.3%で高くなっています。

表 4-1-3 福祉サービスに関する情報の入手先(地区別)

		件数	新聞・雑誌・本	市や県の広報・パンフレット	テレビ・ラジオ	市役所などの窓口	市のホームページ	インターネット(市のホームページ以外)	学校・職場	病院・診療所・クリニック
		(件、%)								
全体		551	36.7	50.3	36.3	6.2	6.4	14.5	4.9	14.5
地区別	犬山地区	253	32.0	44.3	33.6	5.5	7.9	17.8	4.0	11.5
	城東地区	112	47.3	56.3	43.8	8.9	4.5	12.5	8.9	19.6
	羽黒地区	98	35.7	55.1	39.8	3.1	4.1	9.2	3.1	11.2
	楽田地区	70	41.4	57.1	35.7	5.7	5.7	15.7	4.3	22.9
	池野地区	6	-	50.0	16.7	33.3	-	16.7	16.7	16.7
		件数	家族・友人・知人	民生委員・児童委員	公民館などの公開講座	福祉団体・サークルの活動	社会福祉協議会	その他	特にない	無回答
全体		551	15.4	4.2	0.9	2.9	5.3	0.4	13.8	2.7
地区別	犬山地区	253	16.6	3.6	0.8	4.0	6.3	0.8	16.2	3.6
	城東地区	112	12.5	5.4	0.9	2.7	6.3	-	8.0	-
	羽黒地区	98	18.4	4.1	-	1.0	2.0	-	15.3	3.1
	楽田地区	70	11.4	4.3	1.4	2.9	4.3	-	11.4	1.4
	池野地区	6	33.3	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	-

## 5 障害のある方を取り巻く環境について

### 5-1 障害に関する言葉の認知

問15 あなたは次にあげる言葉などをご存知ですか。(すべて)

障害に関する言葉の認知については、「身体障害者手帳」が85.1%で最も高く、次いで「パラリンピック・スペシャルオリンピックス」が80.8%、「障害福祉サービス」が39.9%、「自立支援医療」が29.9%、「ユニバーサルデザイン」が29.6%などとなっています。

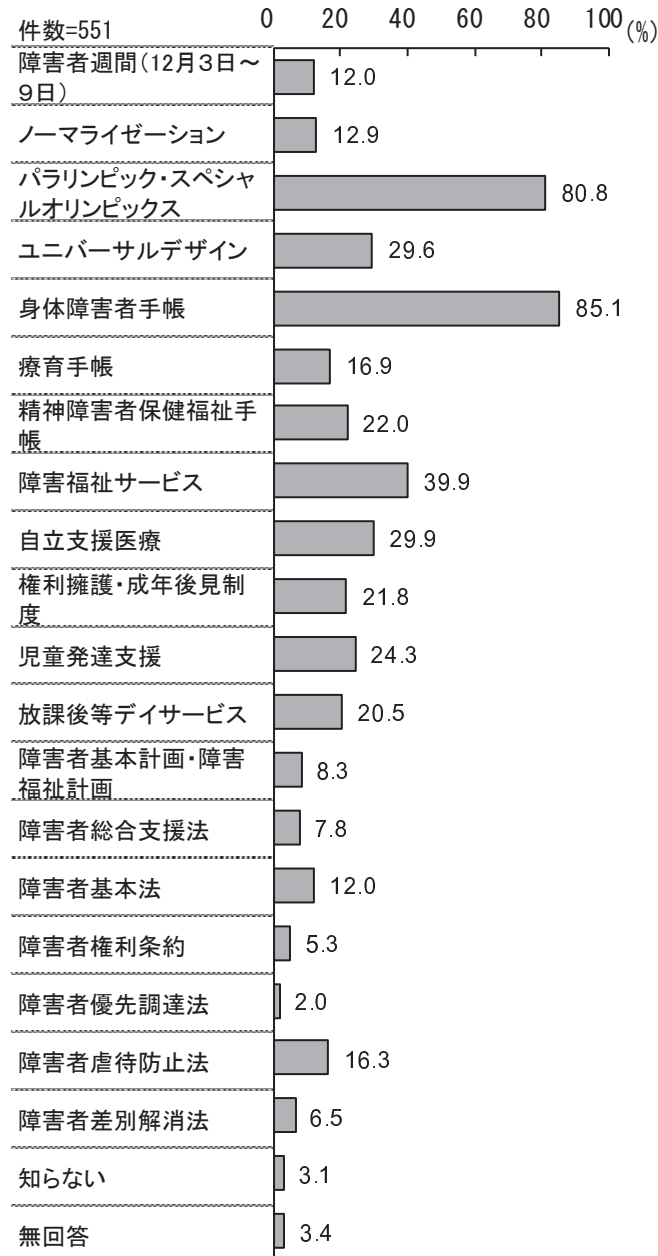


図 5-1 障害に関する言葉の認知



性別で見ると「児童発達支援」は女性（27.9%）が男性（20.4%）より7.5ポイント高くなっています。

表 5-1-1 障害に関する言葉の認知(性別)

		件数	障害者週間（12月3日～9日）	ノーマライゼーション	オリンピック・スペシャル	ユニバーサルデザイン	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	障害福祉サービス	自立支援医療	権利擁護・成年後見制度	児童発達支援
(件、%)													
全 体		551	12.0	12.9	80.8	29.6	85.1	16.9	22.0	39.9	29.9	21.8	24.3
性別	男性	235	14.9	10.2	80.9	29.4	85.5	12.8	18.3	40.9	28.5	19.6	20.4
	女性	308	10.1	14.9	81.2	30.5	85.4	19.8	24.7	39.6	30.8	23.7	27.9
		件数	放課後等デイサービス	画 障害者基本計画・障害福祉計	障害者総合支援法	障害者基本法	障害者権利条約	障害者優先調達法	障害者虐待防止法	障害者差別解消法	知らない	無回答	
全 体		551	20.5	8.3	7.8	12.0	5.3	2.0	16.3	6.5	3.1	3.4	
性別	男性	235	18.7	8.9	7.7	11.9	5.1	1.7	13.6	8.1	3.8	2.6	
	女性	308	22.1	7.5	8.1	12.3	5.5	2.3	18.5	5.5	2.6	3.6	

年齢別でみると「ノーマライゼーション」「ユニバーサルデザイン」「障害福祉サービス」「放課後等デイサービス」は20歳代が最も高くなっています。また、「ユニバーサルデザイン」「放課後等デイサービス」は40代で高く、「ユニバーサルデザイン」「身体障害者手帳」は50歳代で高くなっています。

表 5-1-2 障害に関する言葉の認知(年齢別)

	件数 (件、%)	障害者週間 (12月3日～9日)	ノーマライゼーション	パラリンピックス・スペシャル	ユニバーサルデザイン	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	障害福祉サービス	自立支援医療	権利擁護・成年後見制度	児童発達支援	
													放課後等デイサービス
全体	551	12.0	12.9	80.8	29.6	85.1	16.9	22.0	39.9	29.9	21.8	24.3	
年齢別	20歳代	34	14.7	38.2	82.4	67.6	79.4	17.6	20.6	50.0	35.3	14.7	29.4
	30歳代	65	6.2	12.3	89.2	27.7	87.7	23.1	20.0	26.2	9.2	32.3	
	40歳代	104	15.4	15.4	84.6	47.1	83.7	26.0	30.8	40.4	23.1	22.1	30.8
	50歳代	68	16.2	14.7	86.8	41.2	95.6	17.6	19.1	35.3	33.8	30.9	22.1
	60歳代	120	11.7	10.0	79.2	23.3	90.0	16.7	20.8	47.5	35.8	26.7	27.5
	70歳以上	144	10.4	4.9	72.9	7.6	78.5	6.3	19.4	40.3	27.1	21.5	13.2
全体	551	20.5	8.3	7.8	12.0	5.3	2.0	16.3	6.5	3.1	3.4		
年齢別	20歳代	34	32.4	5.9	5.9	17.6	2.9	2.9	8.8	5.9	-	-	
	30歳代	65	20.0	4.6	4.6	9.2	4.6	-	13.8	7.7	1.5	4.6	
	40歳代	104	30.8	11.5	12.5	15.4	9.6	4.8	15.4	7.7	1.0	1.9	
	50歳代	68	25.0	8.8	10.3	17.6	4.4	2.9	14.7	5.9	-	4.4	
	60歳代	120	16.7	6.7	5.8	8.3	3.3	0.8	19.2	6.7	4.2	-	
	70歳以上	144	11.1	7.6	6.9	7.6	5.6	1.4	18.1	5.6	6.9	6.3	

地区別でみると「障害福祉サービス」は城東地区が46.4%で4割以上と高くなっています。

表 5-1-3 障害に関する言葉の認知(地区別)

	件数 (件、%)	障害者週間 (12月3日～9日)	ノーマライゼーション	パラリンピックス・スペシャル	ユニバーサルデザイン	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	障害福祉サービス	自立支援医療	権利擁護・成年後見制度	児童発達支援
全体	551	12.0	12.9	80.8	29.6	85.1	16.9	22.0	39.9	29.9	21.8	24.3
地区別	犬山地区	253	11.9	14.6	83.4	28.9	85.4	17.0	20.6	41.5	30.0	24.5
	城東地区	112	19.6	14.3	79.5	32.1	86.6	20.5	28.6	46.4	32.1	33.0
	羽黒地区	98	5.1	7.1	79.6	30.6	85.7	11.2	17.3	27.6	18.4	17.3
	楽田地区	70	11.4	12.9	75.7	28.6	82.9	17.1	21.4	41.4	41.4	21.4
	池野地区	6	-	16.7	83.3	50.0	83.3	33.3	33.3	50.0	50.0	50.0
全体	551	20.5	8.3	7.8	12.0	5.3	2.0	16.3	6.5	3.1	3.4	
地区別	犬山地区	253	22.1	5.9	8.3	11.1	5.9	1.6	17.4	5.5	4.3	3.2
	城東地区	112	20.5	11.6	8.0	15.2	4.5	1.8	14.3	8.9	2.7	1.8
	羽黒地区	98	18.4	5.1	5.1	8.2	2.0	2.0	15.3	4.1	2.0	4.1
	楽田地区	70	17.1	14.3	11.4	15.7	10.0	4.3	20.0	11.4	1.4	4.3
	池野地区	6	50.0	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-

## 5-2 発達障害の認知

問16 あなたは、発達障害（自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）など）について、知っていますか。（1つだけ）

発達障害の認知については、「聞いたことはある」が59.0%で、これに「よく知っている」（17.2%）を合わせた『知っている』は76.2%となっています。一方、「ほとんど知らない」は21.4%となっています。

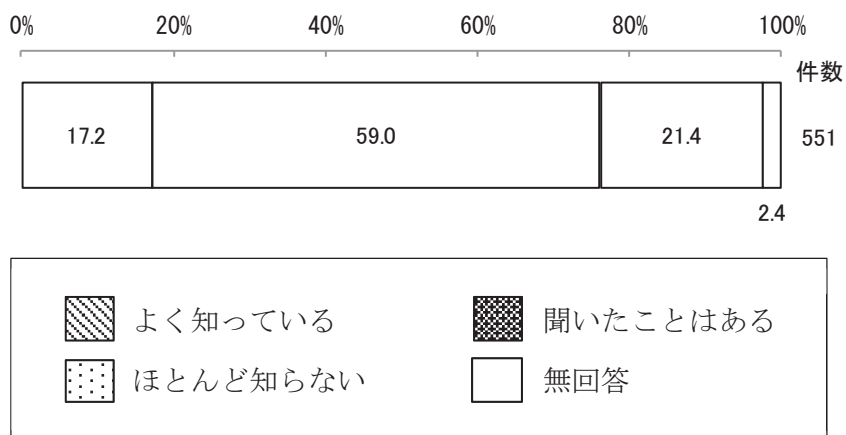


図 5-2 発達障害の認知

### 5-3 障害福祉サービスの認知

問17 あなたは次にあげる障害福祉サービスをご存知ですか。(すべて)

障害福祉サービスの認知については、「居宅介護」が56.3%で最も高く、次いで「共同生活援助（グループホーム）」が43.9%、「自立訓練（機能訓練）」が36.8%、「短期入所」が33.4%、「生活介護」が33.0%などとなっています。

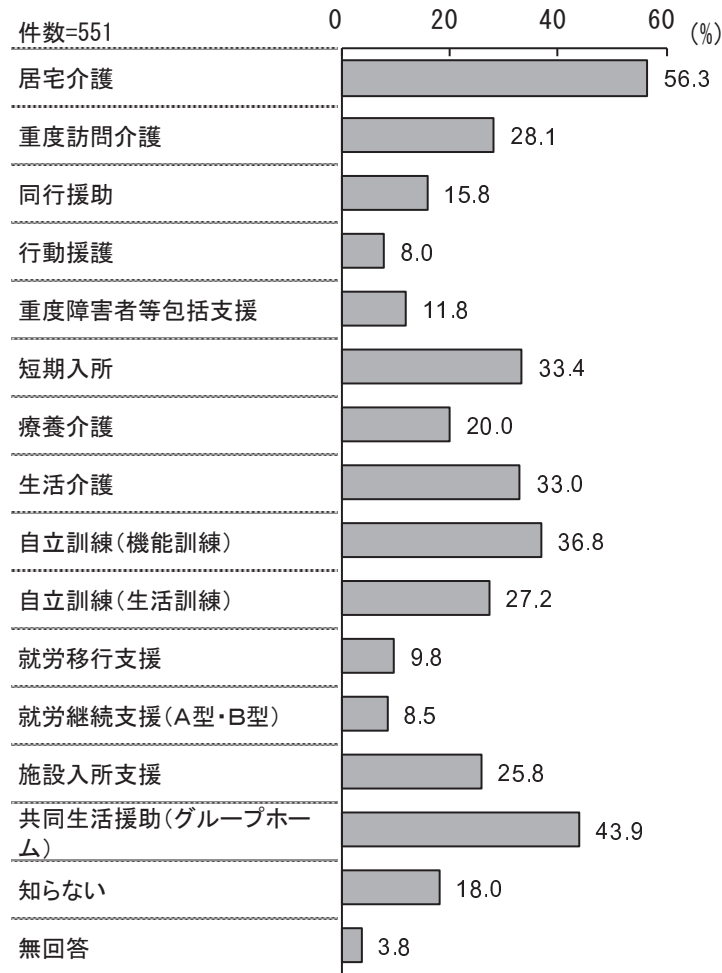


図 5-3 障害福祉サービスの認知

性別でみると「施設入所支援」は女性（31.8%）が男性（18.3%）より13.5ポイント高く、「短期入所」も女性（39.0%）が男性（26.4%）より12.6ポイント高くなっています。

表 5-3-1 障害福祉サービスの認知(性別)

		件数	居宅介護	重度訪問介護	同行援助	行動援護	重度障害者等包括支援	短期入所	療養介護	生活介護
		(件、%)								
全 体		551	56.3	28.1	15.8	8.0	11.8	33.4	20.0	33.0
性別	男性	235	55.7	26.8	11.1	8.5	9.4	26.4	21.7	33.2
	女性	308	56.5	29.5	19.5	7.5	13.3	39.0	19.2	32.8
		件数	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援	型) 就労継続支援 (A型・B型)	施設入所支援	ム) 共同生活援助 (グループホーム)	知らない	無回答
全 体		551	36.8	27.2	9.8	8.5	25.8	43.9	18.0	3.8
性別	男性	235	34.9	25.1	12.8	8.9	18.3	38.7	19.1	3.4
	女性	308	38.6	29.2	7.8	8.1	31.8	48.4	17.5	3.2

年齢別でみると「共同生活援助（グループホーム）」は40歳代で最も高くなっています。

表 5-3-2 障害福祉サービスの認知(年齢別)

		件数	居宅介護	重度訪問介護	同行援助	行動援助	重度障害者等包括支援	短期入所	療養介護	生活介護
(件、%)										
全 体		551	56.3	28.1	15.8	8.0	11.8	33.4	20.0	33.0
年 齢 別	20歳代	34	61.8	17.6	14.7	8.8	11.8	26.5	14.7	29.4
	30歳代	65	50.8	16.9	10.8	3.1	9.2	20.0	13.8	35.4
	40歳代	104	43.3	26.9	18.3	11.5	14.4	36.5	26.9	30.8
	50歳代	68	55.9	32.4	22.1	13.2	13.2	38.2	17.6	38.2
	60歳代	120	64.2	33.3	16.7	5.0	9.2	34.2	20.0	33.3
	70歳以上	144	61.1	31.9	13.2	7.6	12.5	37.5	20.8	31.3
		件数	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援	型)就労継続支援(A型・B型)	施設入所支援	共同生活援助(グループホーム)	知らない	無回答
全 体		551	36.8	27.2	9.8	8.5	25.8	43.9	18.0	3.8
年 齢 別	20歳代	34	32.4	23.5	2.9	11.8	11.8	47.1	20.6	-
	30歳代	65	33.8	24.6	10.8	12.3	18.5	33.8	24.6	1.5
	40歳代	104	40.4	35.6	18.3	12.5	27.9	49.0	23.1	1.0
	50歳代	68	39.7	33.8	13.2	8.8	30.9	45.6	14.7	5.9
	60歳代	120	36.7	23.3	8.3	7.5	24.2	45.8	15.0	4.2
	70歳以上	144	35.4	25.7	5.6	4.2	30.6	43.1	16.7	4.9

地区別でみると「居宅介護」は羽黒地区が63.3%でやや高くなっています。

表 5-3-3 障害福祉サービスの認知(地区別)

		件数	居宅介護	重度訪問介護	同行援助	行動援助	重度障害者等包括支援	短期入所	療養介護	生活介護
		(件、%)								
全体		551	56.3	28.1	15.8	8.0	11.8	33.4	20.0	33.0
地区別	犬山地区	253	53.4	31.6	15.0	8.7	13.4	32.0	18.6	36.0
	城東地区	112	56.3	33.9	18.8	7.1	9.8	33.9	24.1	32.1
	羽黒地区	98	63.3	16.3	11.2	7.1	8.2	34.7	19.4	29.6
	楽田地区	70	58.6	24.3	21.4	7.1	14.3	38.6	18.6	28.6
	池野地区	6	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	50.0	50.0	50.0
		件数	自立訓練 (機能訓練)	自立訓練 (生活訓練)	就労移行支援	就労継続支援 (A型・B型)	施設入所支援	共同生活援助 (グループホーム)	知らない	無回答
全体		551	36.8	27.2	9.8	8.5	25.8	43.9	18.0	3.8
地区別	犬山地区	253	37.5	27.7	11.1	7.9	27.3	44.7	17.8	3.6
	城東地区	112	42.0	33.0	12.5	8.0	30.4	42.0	21.4	2.7
	羽黒地区	98	35.7	23.5	5.1	7.1	19.4	49.0	15.3	4.1
	楽田地区	70	27.1	22.9	8.6	11.4	25.7	38.6	17.1	2.9
	池野地区	6	66.7	50.0	16.7	33.3	33.3	66.7	16.7	-



#### 5-4 地域生活支援事業の認知

問18 あなたは次にあげる地域生活支援事業をご存知ですか。(すべて)

地域生活支援事業の認知については、「訪問入浴サービス」が61.3%で最も高く、次いで「相談支援」が26.9%、「成年後見制度利用支援」が24.5%、「生活サポート」が23.0%、「地域活動支援センター」が22.5%などとなっています。一方、「知らない」は24.1%となっています。

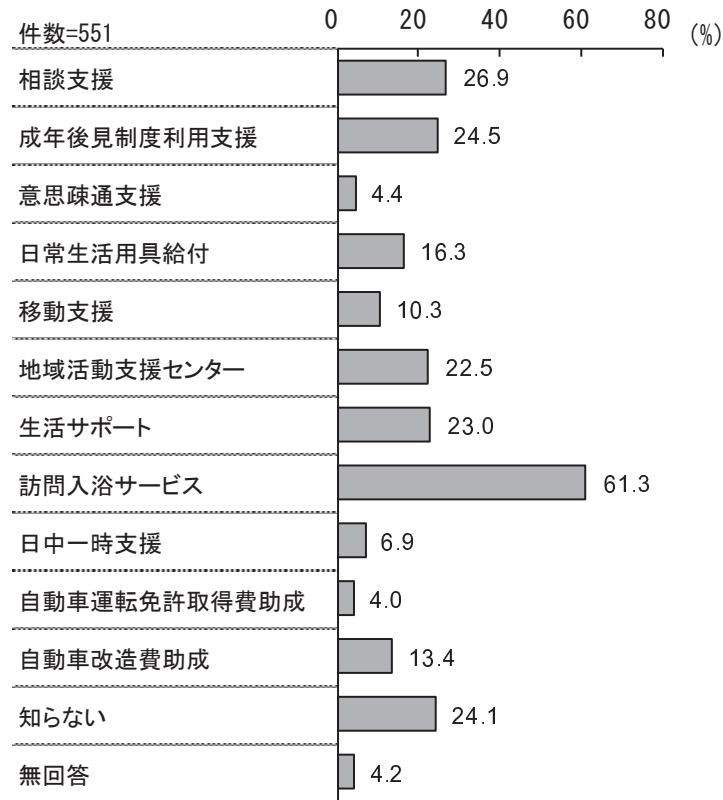


図 5-4 地域生活支援事業の認知

性別・年齢別・地区別でみると、性別では「日常生活用具給付」は女性（20.5%）が男性（11.1%）より9.4ポイント高くなっています。

年齢別では「訪問入浴サービス」は60歳代が71.7%で7割以上と高くなっています。また、「知らない」は年齢が低いほど概ね高く、50歳以上では約2割であるのに対し、20歳代（38.2%）では約4割となっています。

表 5-4 地域生活支援事業の認知(性別・年齢別・地区別)

		件数	相談支援	成年後見制度利用支援	意思疎通支援	日常生活用具給付	移動支援	地域活動支援センター	生活サポート	訪問入浴サービス	日中一時支援	自動車運転免許取得費助成	自動車改造費助成	知らない	無回答
		(件、%)													
全体		551	26.9	24.5	4.4	16.3	10.3	22.5	23.0	61.3	6.9	4.0	13.4	24.1	4.2
性別	男性	235	25.5	20.4	4.3	11.1	9.4	20.0	21.7	57.0	5.1	5.1	12.3	26.0	2.6
	女性	308	28.6	27.9	4.5	20.5	11.0	24.4	24.7	65.3	8.4	3.2	14.6	22.7	4.5
年齢別	20歳代	34	11.8	17.6	5.9	8.8	2.9	17.6	14.7	47.1	-	2.9	2.9	38.2	-
	30歳代	65	13.8	15.4	3.1	4.6	7.7	13.8	21.5	55.4	3.1	4.6	10.8	33.8	3.1
	40歳代	104	29.8	23.1	7.7	18.3	14.4	25.0	26.0	58.7	8.7	3.8	18.3	29.8	1.0
	50歳代	68	26.5	23.5	4.4	19.1	17.6	26.5	25.0	69.1	11.8	2.9	13.2	19.1	4.4
	60歳代	120	30.0	30.8	5.0	17.5	7.5	20.8	22.5	71.7	8.3	5.8	18.3	19.2	1.7
	70歳以上	144	33.3	27.8	1.4	20.8	9.7	24.3	22.2	57.6	6.3	3.5	10.4	19.4	8.3
地区別	犬山地区	253	26.9	24.1	5.1	16.2	11.1	21.7	24.5	60.9	7.1	2.8	11.5	22.9	4.3
	城東地区	112	31.3	29.5	4.5	19.6	11.6	25.9	23.2	65.2	7.1	5.4	18.8	25.9	1.8
	羽黒地区	98	21.4	18.4	-	10.2	6.1	16.3	20.4	59.2	5.1	4.1	10.2	23.5	3.1
	楽田地区	70	28.6	25.7	5.7	20.0	10.0	28.6	22.9	64.3	8.6	5.7	17.1	25.7	5.7
	池野地区	6	50.0	50.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	-

## 5-5 障害児サービスの認知

問19 あなたは次にあげる障害児のサービスをご存知ですか。(すべて)

障害児サービスの認知については、「児童発達支援(療育)」が23.4%、「放課後等デイサービス」が22.5%などとなっています。一方、「知らない」は57.0%と高くなっています。

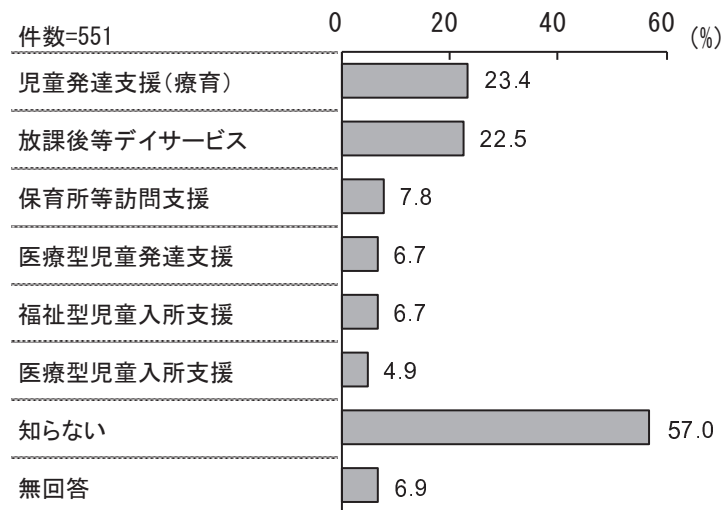


図 5-5 障害児サービスの認知

性別・年齢別・地区別でみると、性別では「児童発達支援（療育）」は女性（26.6%）が男性（19.1%）より7.5ポイント高くなっています。

年齢別では「放課後等デイサービス」は20歳代（35.3%）、40歳代（32.7%）が3割以上と高くなっています。

表 5-5 障害児サービスの認知（性別・年齢別・地区別）

		件数	児童発達支援（療育）	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	医療型児童発達支援（医療的ケアの必要な児童の療育）	福祉型児童入所支援	医療型児童入所支援	知らない	無回答
		(件、%)								
全体		551	23.4	22.5	7.8	6.7	6.7	4.9	57.0	6.9
性別	男性	235	19.1	19.6	8.5	4.3	6.8	3.4	61.3	6.8
	女性	308	26.6	25.0	7.5	8.8	6.8	6.2	54.2	6.5
年齢別	20歳代	34	26.5	35.3	5.9	2.9	5.9	-	52.9	-
	30歳代	65	30.8	26.2	7.7	7.7	9.2	4.6	50.8	1.5
	40歳代	104	30.8	32.7	10.6	8.7	11.5	8.7	50.0	1.9
	50歳代	68	20.6	25.0	7.4	8.8	4.4	4.4	54.4	8.8
	60歳代	120	20.0	19.2	6.7	5.8	4.2	3.3	65.8	6.7
	70歳以上	144	16.7	10.4	8.3	6.3	6.3	5.6	61.8	13.2
地区別	犬山地区	253	24.1	24.1	8.3	6.7	6.7	5.1	54.5	6.3
	城東地区	112	28.6	23.2	7.1	8.0	5.4	6.3	53.6	7.1
	羽黒地区	98	16.3	21.4	5.1	3.1	5.1	3.1	63.3	8.2
	楽田地区	70	21.4	18.6	11.4	10.0	11.4	4.3	62.9	5.7
	池野地区	6	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	66.7	-

## 5-6 サービスや支援事業の利用意向

問20 あなたは、自分自身やご家族が病気や事故などで障害をもった時、障害福祉サービスや障害児のサービス、または地域生活支援事業を利用したいと思いますか。（1つだけ）

サービスや支援事業の利用意向については、「利用したい」が78.4%、「利用したいと思わない」が0.4%となっています。

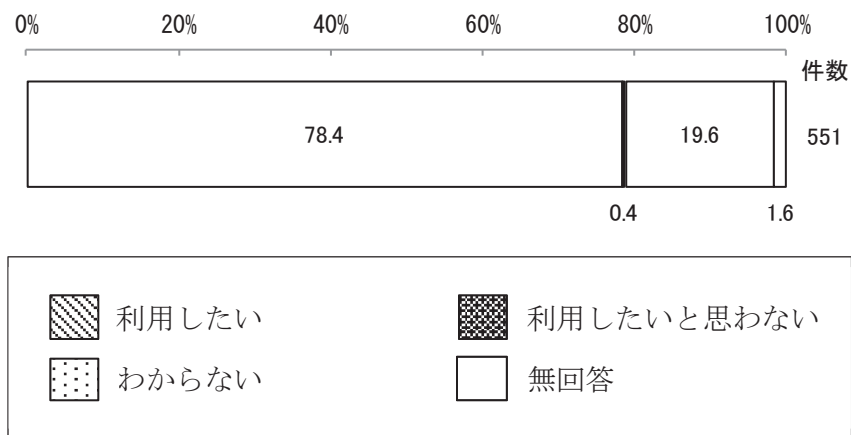


図 5-6 サービスや支援事業の利用意向

年齢別でみると、「利用したい」は30歳代（84.6%）でやや高くなっています。

表 5-6-1 サービスや支援事業の利用意向(年齢別)

		件数	利用したい	利用したいと思わない	わからない	無回答
(件、%)						
全 体		551	78.4	0.4	19.6	1.6
性別	男性	235	77.0	0.4	21.7	0.9
	女性	308	79.9	0.3	18.2	1.6
年齢別	20歳代	34	76.5	2.9	20.6	-
	30歳代	65	84.6	-	15.4	-
	40歳代	104	77.9	-	21.2	1.0
	50歳代	68	73.5	-	25.0	1.5
	60歳代	120	76.7	0.8	21.7	0.8
	70歳以上	144	80.6	-	16.7	2.8
地区別	犬山地区	253	76.3	0.4	21.7	1.6
	城東地区	112	82.1	-	17.0	0.9
	羽黒地区	98	76.5	-	21.4	2.0
	楽田地区	70	82.9	1.4	15.7	-
	池野地区	6	100.0	-	-	-

## 5-7 子どもの発達に関する不安

問21 就学前のお子さんをお持ちの方にお聞きします。あなたは、お子さんが「同じ年齢の子どもに比べて発達が遅れている」と思いますか。(1つだけ)

子どもの発達に関する不安については、「発達に気になるところがあると感じている」が14.0%で、これに「発達に遅れがあると感じている」(5.3%)を合わせた『発達の遅れや気になるところがあると感じている』が19.3%となっています。一方、「発達に遅れや気になるところがあるとは感じていない」は80.7%となっています。

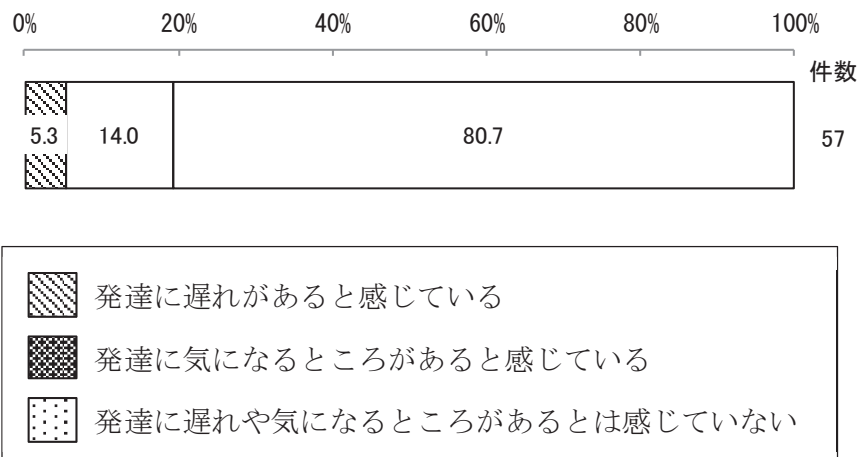


図 5-7 子どもの発達に関する不安

## 5-8 子どもの発達に不安を感じる保護者に対する支援

問22 就学前の、発達に遅れの見られる子どもや、子どもの発達に不安を感じる保護者に対する支援として、どのような事業や取り組みがあると良いと思いますか。(すべて)

子どもの発達に不安を感じる保護者に対する支援については、「不安を感じる親が専門家等に気軽に相談できる事業」が51.0%で最も高く、次いで「不安を感じる親同士が交流し、悩みを話し合ったり情報交換したりできる事業」が39.7%、「不安を感じる親が障害児の子育て経験のある親に相談できる事業」が31.4%、「子どもの子育て支援事業に発達の遅れのある子が参加しやすくなるよう配慮する事業」が29.6%、「発達に遅れの見られる子と発達に遅れのない子が一緒に交流できる事業」が27.4%などとなっています。

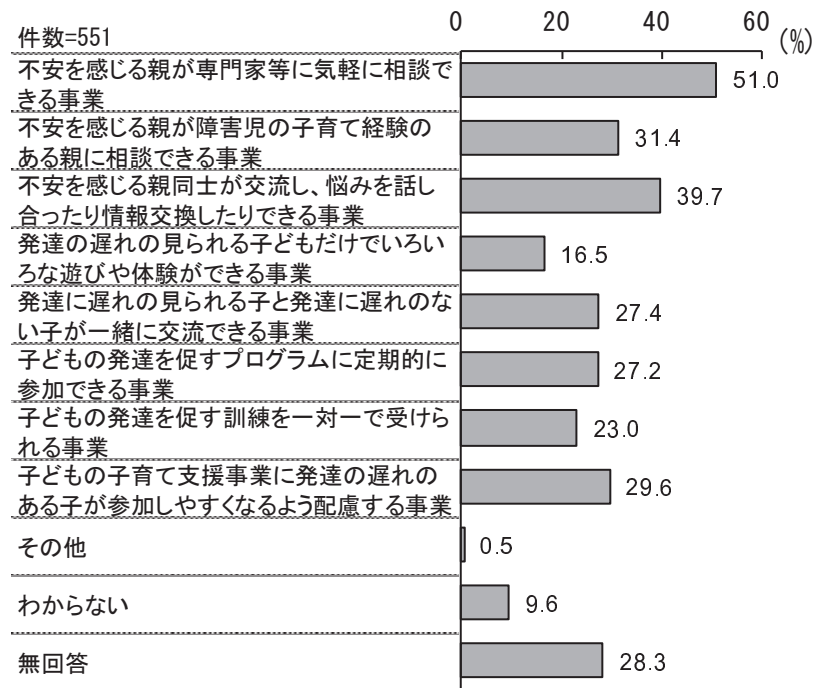


図 5-8 子どもの発達に不安を感じる保護者に対する支援



### 5-9 「障害者雇用の促進法」による法定雇用率の義務付けについての認知

問23 あなたは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」では、事業主に対して、その雇用する労働者に占める身体障害者・知的障害者の割合が一定率以上になるように義務づけられていることを知っていますか。（いずれかに○）

「障害者雇用の促進法」による法定雇用率の義務付けについての認知については、「はい」が52.8%、「いいえ」が43.2%となっています。

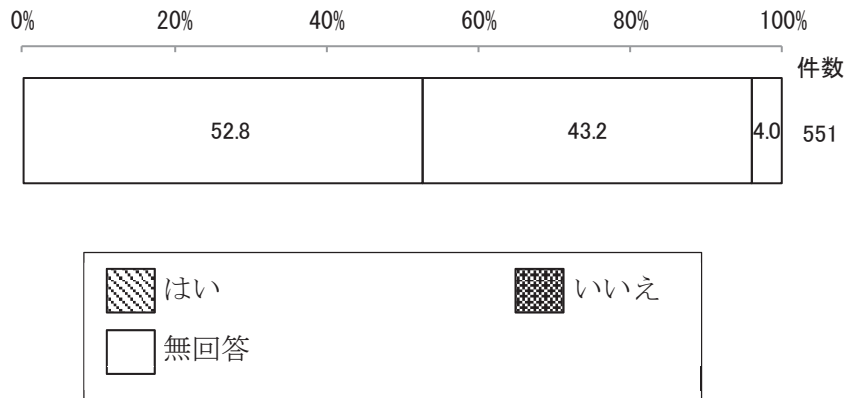


図 5-9 「障害者雇用の促進法」による法定雇用率の義務付けについての認知

### 5-10 障害者の法定雇用率の引き上げについての認知

問24 あなたは、平成25年4月から、障害者の法定雇用率が（民間企業 1.8%から 2.0%へ、国・地方公共団体 2.1%から 2.3%へ、都道府県等の教育委員会 2.0%から 2.2%へ）引き上げられたことを知っていますか。（いずれかに○）

障害者の法定雇用率の引き上げについての認知については、「はい」が14.7%、「いいえ」が81.9%となっています。

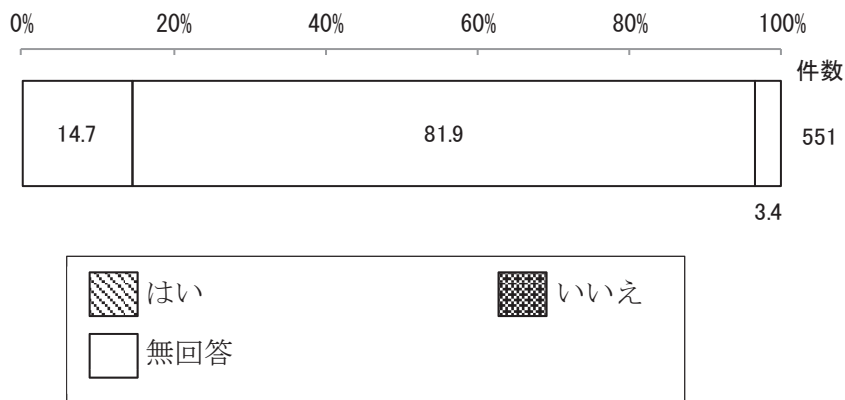


図 5-10 障害者の法定雇用率の引き上げについての認知

### 5-11 障害者にとっての犬山市の暮らしやすさ

問25 犬山市では100人のうち5人の方が障害者手帳を持っています。あなたは、障害のある方にとって犬山市は暮らしやすいまちだと思いますか。(1つだけ)

障害者にとっての犬山市の暮らしやすさについては、「やや思う」が15.6%で、これに「思う」(2.2%)を合わせた『思う』が17.8%となっています。一方、「あまり思わない(25.2%)と「思わない」(10.7%)を合わせた『思わない』は35.9%となっています。また、「わからない」が43.6%で最も高くなっています。

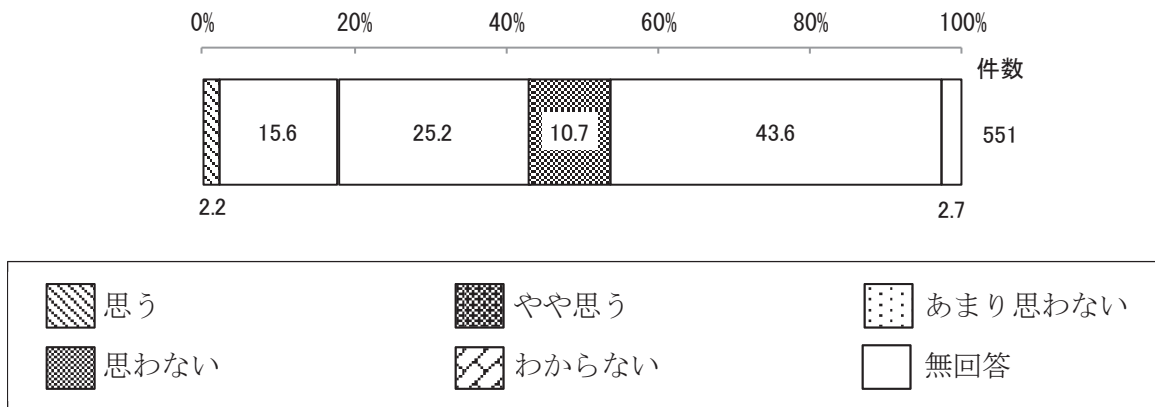


図 5-11 障害者にとっての犬山市の暮らしやすさ

## 5-12 障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと

問26 あなたは、障害のある方にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だとお考えですか。(5つまで)

障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なことについては、「何でも相談できる窓口をつくる」が51.9%で最も高く、次いで「障害のある方が在宅で生活しやすいよう、保健・医療・福祉のサービスを増やす」が40.1%、「障害のある方が働ける場所をつくる」が35.8%、「道路・建物などを利用しやすくする」が29.9%、「リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する」が24.7%などとなっています。

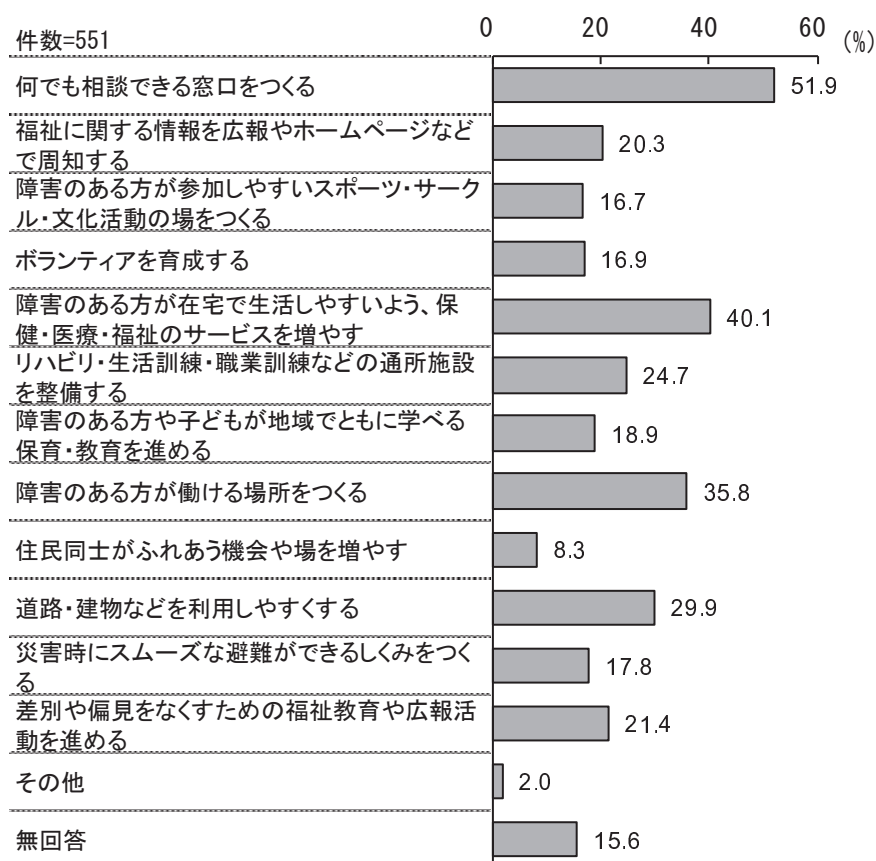


図 5-12 障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと

性別で見ると「障害のある方が働ける場所をつくる」は男性（40.4%）が女性（32.5%）より7.9ポイント高くなっています。

表 5-12-1 障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと(性別)

		件数	何でも相談できる窓口をつくる	福祉に関する情報を広報やホームページなどで周知する	障害のある方が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の場をつくる	ボランティアを育成する	障害のある方が在宅で生活しやすいよう、保健・医療・福祉のサービスを増やす	障害のある方が生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する	障害のある方や子どもが地域で学べる保育・教育を進める
全体		551	51.9	20.3	16.7	16.9	40.1	24.7	18.9	
性別	男性	235	51.9	20.0	18.7	18.3	41.3	25.5	17.9	
	女性	308	52.3	20.5	15.3	15.3	39.9	23.7	19.8	
		件数	障害のある方が働ける場所をつくる	住民同士がふれあう機会や場を増やす	道路・建物などを利用しやすくする	災害時にスムーズな避難ができるしくみをつくる	差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動を進める	その他	無回答	
全体		551	35.8	8.3	29.9	17.8	21.4	2.0	15.6	
性別	男性	235	40.4	8.1	27.7	14.5	20.9	2.6	12.3	
	女性	308	32.5	8.8	32.1	20.5	22.1	1.6	17.5	

年齢別でみると「障害のある方や子どもが地域とともに学べる保育・教育を進める」は30歳代（36.9%）が高く、「障害のある方が働ける場所をつくる」は40歳代（51.0%）が高くなっています。

表 5-12-2 障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと(年齢別)

		件数	何でも相談できる窓口をつくる	福祉に関する情報を広報やホームページなどで周知する	障害のある方が参加しやすい活動の場をつくる	ボランティアを育成する	サービスを増やす	障害のある方が在宅で生活しやすいよう、保健・医療・福祉の連携を強化する	なごみ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する	障害のある方や子どもが地域とともに学べる保育・教育を進める
全体		551	51.9	20.3	16.7	16.9	40.1	24.7	18.9	
年齢別	20歳代	34	44.1	14.7	20.6	11.8	32.4	23.5	26.5	
	30歳代	65	41.5	15.4	15.4	6.2	38.5	16.9	36.9	
	40歳代	104	52.9	22.1	17.3	16.3	37.5	26.0	17.3	
	50歳代	68	52.9	26.5	11.8	29.4	55.9	26.5	23.5	
	60歳代	120	51.7	12.5	15.0	14.2	40.8	25.8	16.7	
	70歳以上	144	59.7	27.1	19.4	18.8	38.9	24.3	11.1	
		件数	障害のある方が働ける場所をつくる	住民同士がふれあう機会や場を増やす	道路・建物などを利用しやすくする	災害時にスムーズな避難ができるしくみをつくる	差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動を進める	その他	無回答	
全体		551	35.8	8.3	29.9	17.8	21.4	2.0	15.6	
年齢別	20歳代	34	41.2	8.8	47.1	23.5	26.5	2.9	14.7	
	30歳代	65	29.2	9.2	33.8	20.0	20.0	-	18.5	
	40歳代	104	51.0	6.7	37.5	17.3	22.1	2.9	8.7	
	50歳代	68	30.9	7.4	41.2	23.5	19.1	1.5	7.4	
	60歳代	120	36.7	7.5	29.2	13.3	24.2	1.7	20.0	
	70歳以上	144	29.2	10.4	14.6	16.0	19.4	2.8	17.4	

地区別でみると「何でも相談できる窓口をつくる」が高くなっています。

表 5-12-3 障害者にとって住みよいまちをつくるために必要なこと(地区別)

		件数	何でも相談できる窓口をつくる	福祉に関する情報を広報やホームページなどで周知する	障害のある方が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の場をつくる	ボランティアを育成する	サービスを増やす	障害のある方が在宅で生活しやすいよう、保健・医療・福祉のサービスを増やす	リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する	障害のある方や子どもが地域でともに学べる保育・教育を進める
(件、%)										
全体		551	51.9	20.3	16.7	16.9	40.1	24.7	18.9	
地区別	犬山地区	253	55.7	20.6	15.4	17.8	38.3	28.5	19.8	
	城東地区	112	51.8	24.1	20.5	16.1	46.4	26.8	20.5	
	羽黒地区	98	43.9	16.3	14.3	9.2	35.7	14.3	16.3	
	楽田地区	70	54.3	14.3	17.1	18.6	42.9	21.4	15.7	
	池野地区	6	16.7	50.0	16.7	33.3	50.0	33.3	50.0	
		件数	障害のある方が働ける場所をつくる	住民同士がふれあう機会や場を増やす	道路・建物などを利用しやすくする	災害時にスムーズな避難ができるしくみをつくる	差別や偏見をなくするための福祉教育や広報活動を進める	その他	無回答	
全体		551	35.8	8.3	29.9	17.8	21.4	2.0	15.6	
地区別	犬山地区	253	39.5	10.3	30.0	20.6	21.3	1.6	11.9	
	城東地区	112	34.8	8.0	27.7	15.2	23.2	0.9	17.0	
	羽黒地区	98	29.6	5.1	36.7	19.4	14.3	3.1	22.4	
	楽田地区	70	31.4	8.6	21.4	11.4	28.6	4.3	18.6	
	池野地区	6	16.7	-	83.3	16.7	16.7	-	-	